

平成 26 年度

武蔵野市民意識調査報告書

【速報版】

平成 26 年 10 月

武 蔵 野 市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査回答者の属性	3
III	調査結果	7
1	お住まいの地域のことについて	7
	定住のきっかけ	7
	定住意向	8
	定住意向の理由	9
	転出意向の理由	10
	生活環境の評価	11
	武蔵野市全体・お住まいの地域への関心度	12
	近隣との交際状況	14
	地域とのつながりの満足度	15
	住みやすさ向上の行動状況	15
	住みやすさ向上のためにすでに行っていること	16
	住みやすさ向上のために今後してみたいこと	16
	住みやすさ向上のために行動したいと思わない、関心がない理由	17
	武蔵野市全体・お住まいの地域への誇り・愛着	17
2	市政に関する情報提供などについて	20
	市の事業の認知度	20
	市の情報の入手状況	21
	知りたい市政情報	22
	広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段	24
3	市の施策に対する満足度・重要度について	27
	市の施策に対する満足度・重要度	27
	市の施策に対するニーズ得点	30
	市政の現状や問題点	33
	武蔵野市の将来像	34

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えを伺うことを目的に、市民意識調査を実施してきました。今回の調査においても、第五期長期計画・調整計画の策定を含めた今後の市政運営の基礎調査とすべく、市民の皆様の行政ニーズや課題の把握、現在行っている事務や事業の評価等を行いました。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、定住意向、生活環境の評価、地域への関心度、近隣との交際状況、地域とのつながりの満足度、住みやすさ向上の行動状況、地域への誇り・愛着〕	(問1～問8)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の事業の認知度、市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段〕	(問9～問12)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問13～問15)
(4) 自由意見欄	

3 調査設計

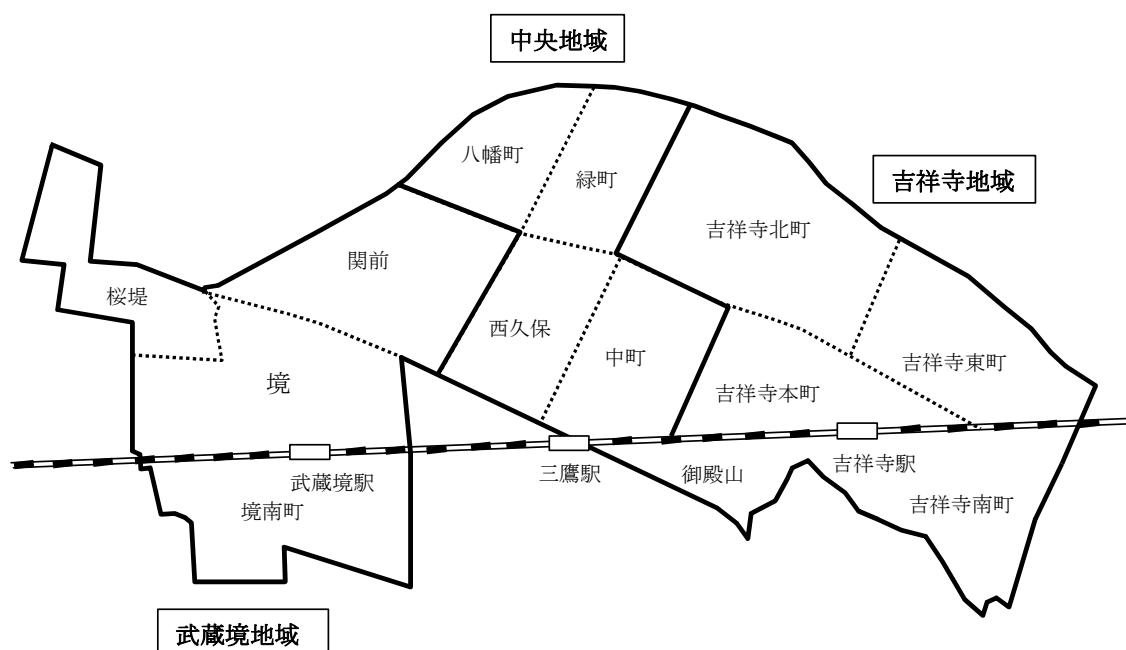
- | | |
|----------|------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収・封書督促を1回） |
| (5) 調査時期 | 平成26年7月15日（火）～7月31日（木） |

4 回収結果

	標本数	回収率
今回	3,500 標本	40.1% (1,403 件)
平成22年	3,500 標本	47.8% (1,672 件)
平成19年	3,000 標本	48.1% (1,442 件)

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

< 地域名 >	< 地域該当町 >
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

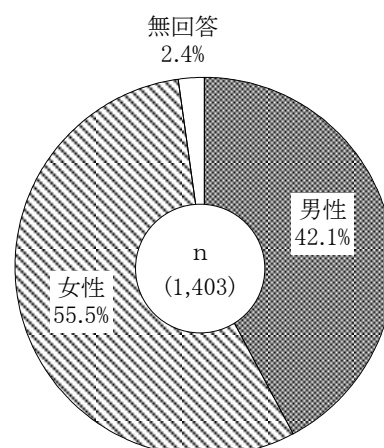
6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) この速報版では、自由意見欄の集計を行っていません。
- (5) 18～19歳については、回答数が少ない（50名中9名が回答）ため、数値の見方に注意が必要です。
- (6) いくつかの調査項目は平成22年度（前回調査）と比較しています。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

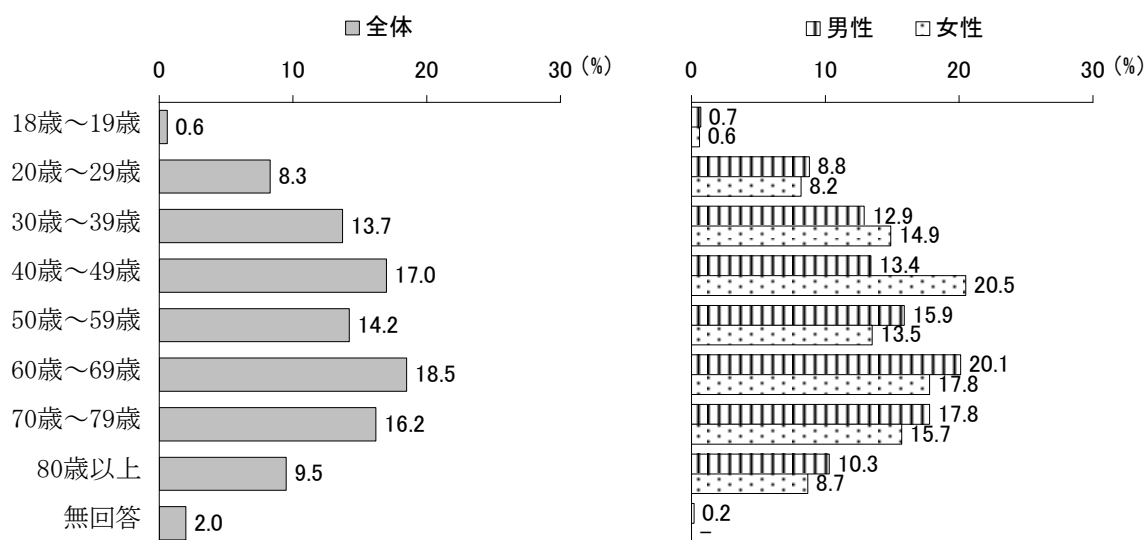
	基 数	構成比 (%)
1 男性	591	42.1
2 女性	779	55.5
(無回答)	33	2.4
合 計	1,403	100.0



2 年齢別・性／年齢別

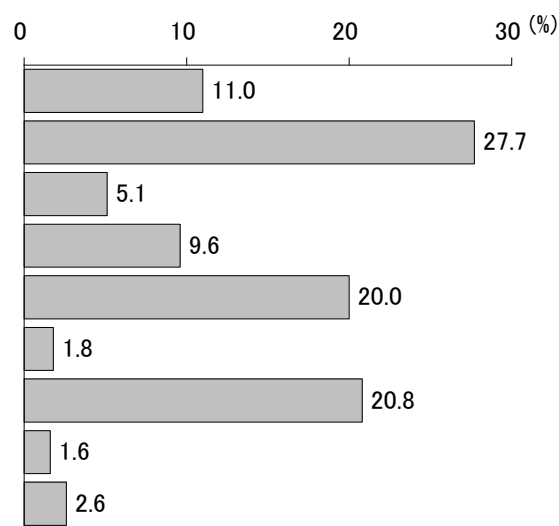
	全体		男性		女性	
	基 数	構成比 (%)	基 数	構成比 (%)	基 数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	9	0.6	4	0.7	5	0.6
2 20歳～29歳	116	8.3	52	8.8	64	8.2
3 30歳～39歳	192	13.7	76	12.9	116	14.9
4 40歳～49歳	239	17.0	79	13.4	160	20.5
5 50歳～59歳	199	14.2	94	15.9	105	13.5
6 60歳～69歳	260	18.5	119	20.1	139	17.8
7 70歳～79歳	227	16.2	105	17.8	122	15.7
8 80歳以上	133	9.5	61	10.3	68	8.7
(無回答)	28	2.0	1	0.2	0	-
合 計	1,403	100.0	591	100.0	779	100.0

(注) 性別で無回答が33人いるため、男女を足し合わせても全体の人数にはならない。



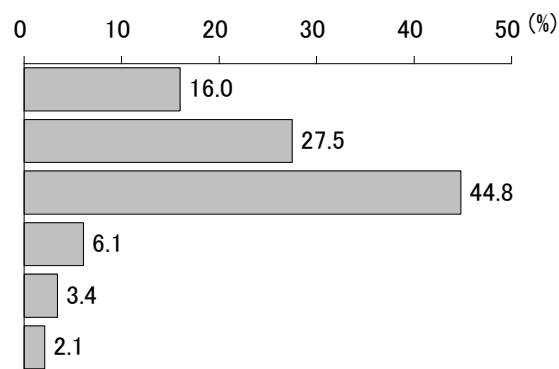
3 職業別

	基 数	構成比 (%)
1 自営業・自由業	154	11.0
2 正社員、正職員	388	27.7
3 契約社員、派遣社員	72	5.1
4 アルバイト、パート	134	9.6
5 家事専業	280	20.0
6 学生	25	1.8
7 無職	292	20.8
8 その他	22	1.6
(無回答)	36	2.6
合 計	1,403	100.0



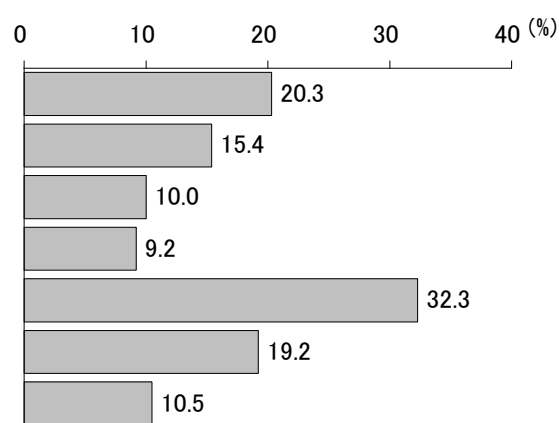
4 家族構成別

	基 数	構成比 (%)
1 ひとり暮らし	225	16.0
2 夫婦のみ	386	27.5
3 親と子（2世代世帯）	628	44.8
4 親と子と孫（3世代世帯）	86	6.1
5 その他	48	3.4
(無回答)	30	2.1
合 計	1,403	100.0



5 お子さんの就学状況

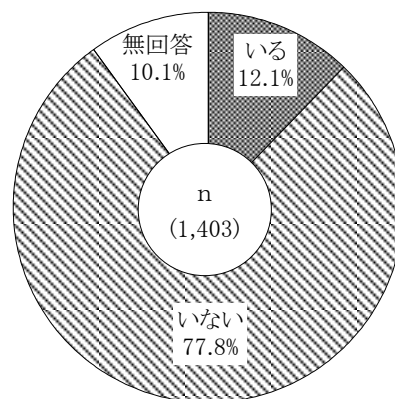
	基 数	比率 (%)
1 小学校入学前	155	20.3
2 小学生	117	15.4
3 中学生	76	10.0
4 高校生および高校生相当年齢	70	9.2
5 その他	246	32.3
6 子どもはいない	146	19.2
(無回答)	80	10.5
合 計	890	



※回答者数は762です。

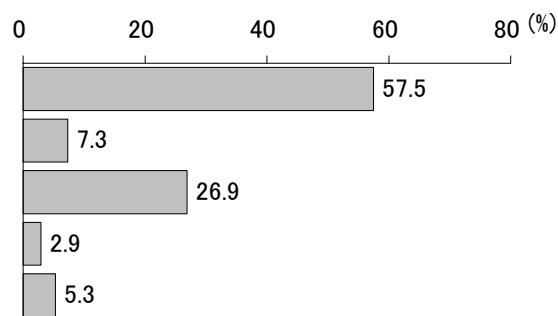
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比 (%)
1 いる	170	12.1
2 いない	1091	77.8
(無回答)	142	10.1
合 計	1,403	100.0



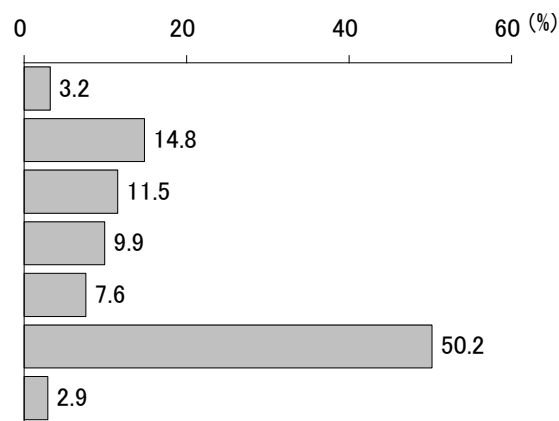
7 日中最も多くの時間を過ごす場所

	基 数	構成比 (%)
1 武蔵野市内	807	57.5
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	102	7.3
3 東京都23区内	378	26.9
4 東京都外	41	2.9
(無回答)	75	5.3
合 計	1,403	100.0



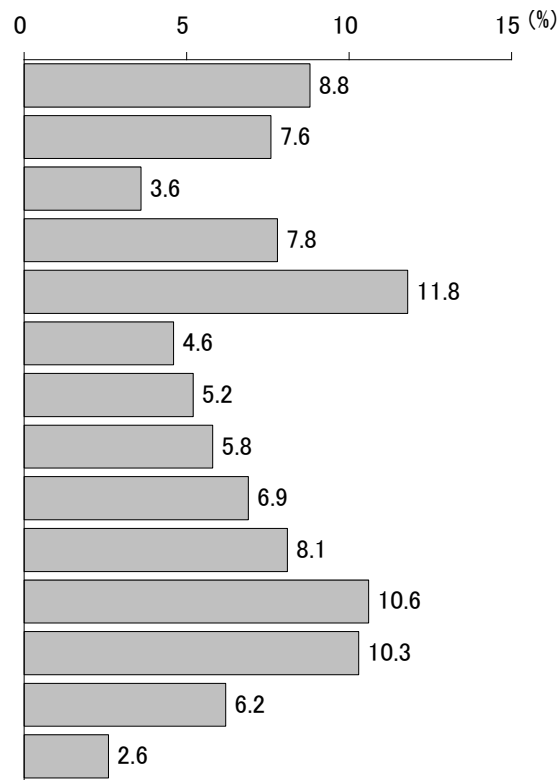
8 居住年数別

	基 数	構成比 (%)
1 1年未満	45	3.2
2 1年～5年未満	207	14.8
3 5年～10年未満	161	11.5
4 10年～15年未満	139	9.9
5 15年～20年未満	106	7.6
6 20年以上	705	50.2
(無回答)	40	2.9
合 計	1,403	100.0



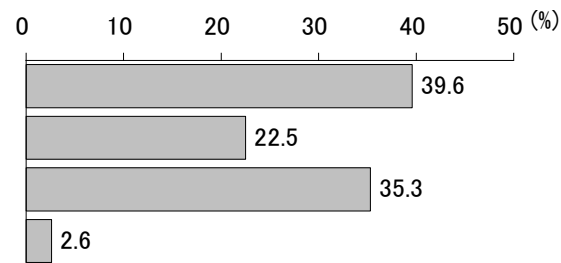
9 居住町名別

	基 数	構成比 (%)
1 吉祥寺東町	124	8.8
2 吉祥寺南町	106	7.6
3 御殿山	51	3.6
4 吉祥寺本町	109	7.8
5 吉祥寺北町	166	11.8
6 中町	64	4.6
7 西久保	73	5.2
8 緑町	82	5.8
9 八幡町	97	6.9
10 関前	114	8.1
11 境	149	10.6
12 境南町	145	10.3
13 桜堤	87	6.2
(無回答)	36	2.6
合 計	1,403	100.0



10 居住地域別※

	基 数	構成比 (%)
1 吉祥寺地域	556	39.6
2 中央地域	316	22.5
3 武蔵境地域	495	35.3
(無回答)	36	2.6
合 計	1,403	100.0



※吉祥寺地域 … (吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

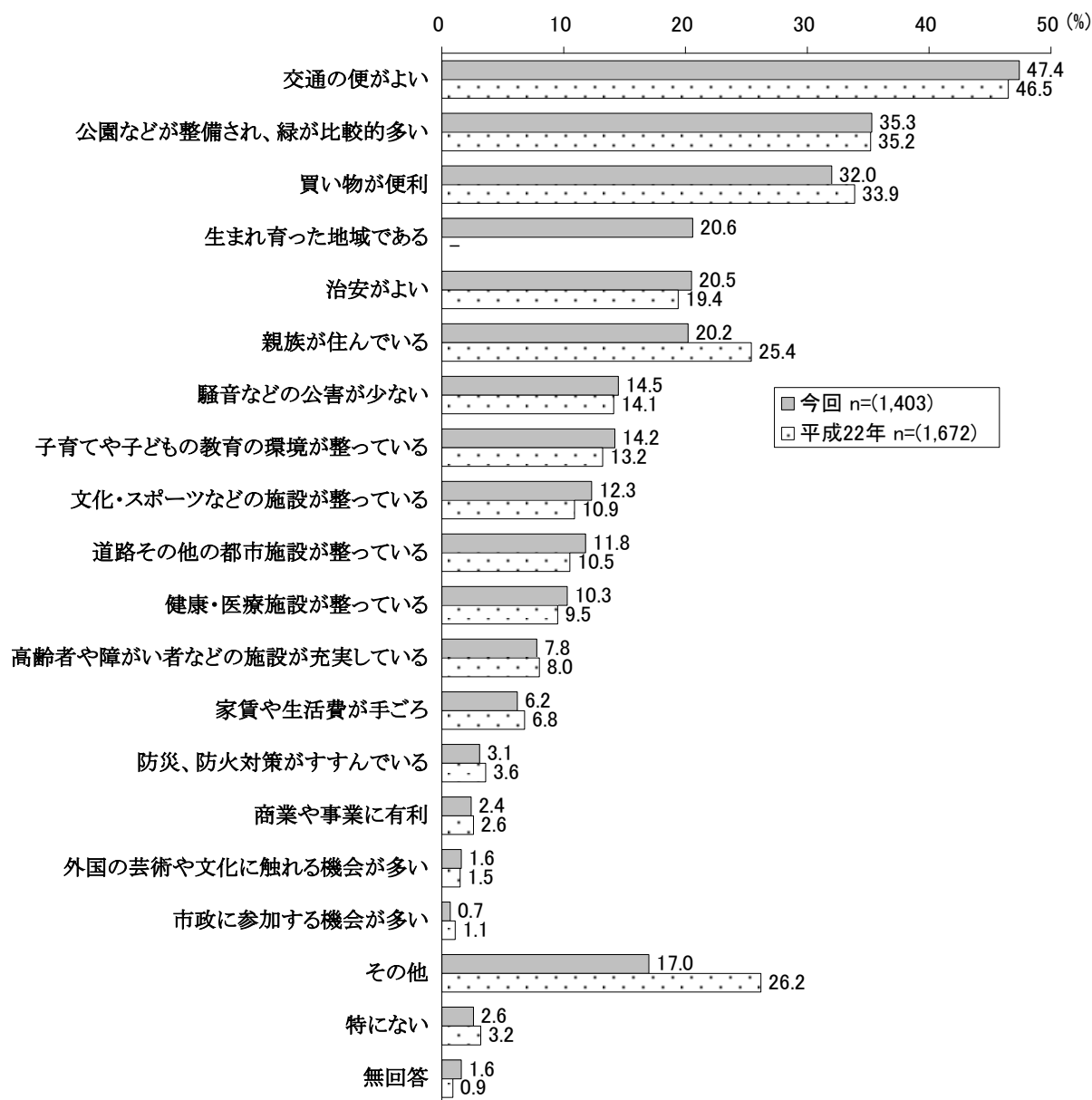
中央地域 … (中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 … (関前、境、境南町、桜堤)

Ⅲ 調査結果

1 お住まいの地域のことについて

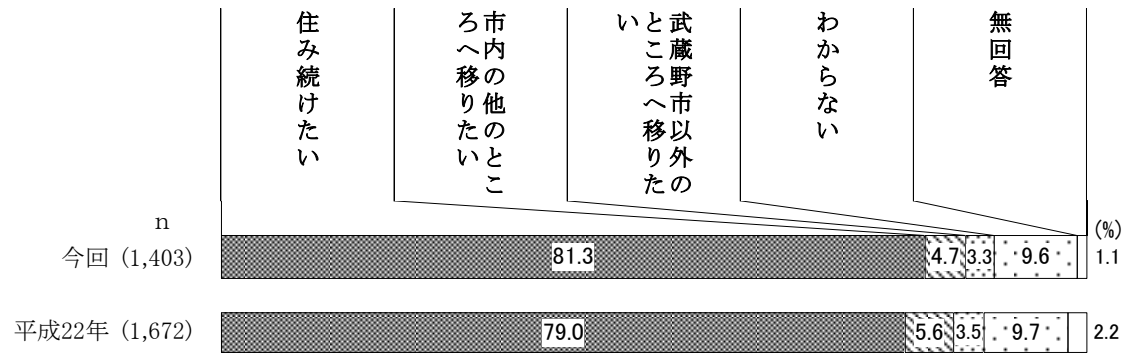
問1 定住のきっかけ（複数回答）



※「生まれ育った地域である」は、今回のみの選択肢である。

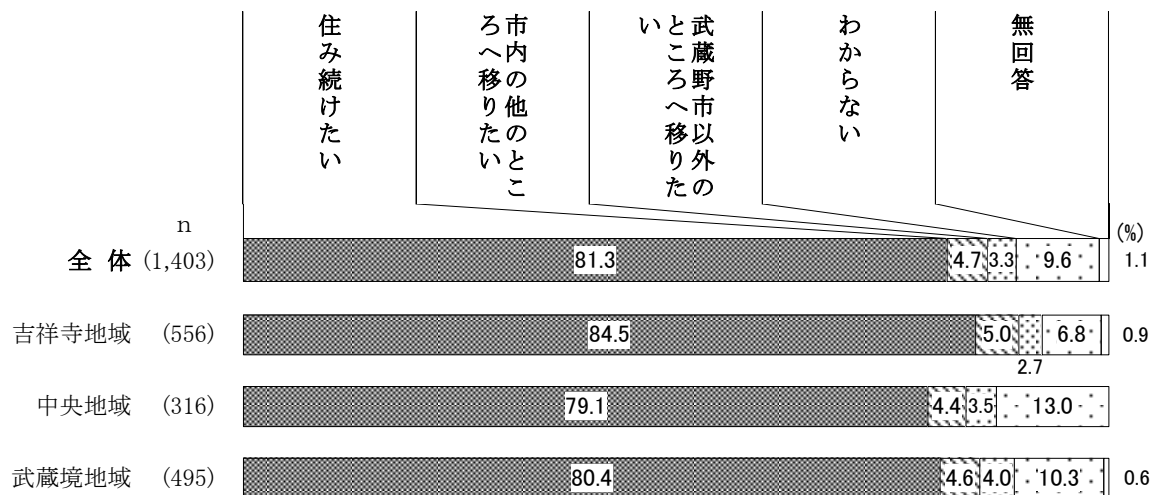
現在の居所に住み始めたきっかけは「交通の便がよい」が47.4%と最も高く、2位の「公園などが整備され、緑が比較的多い」（35.3%）、3位の「買い物が便利」（32.0%）と比べて10ポイント以上高い結果となっています。4位以降は「生まれ育った地域である」（20.6%）、「治安がよい」（20.5%）、「親族が住んでいる」（20.2%）と続いています。前回調査と比較すると、1位、2位、3位に変化はありませんでした。

問2 定住意向（全体、居住地域別）



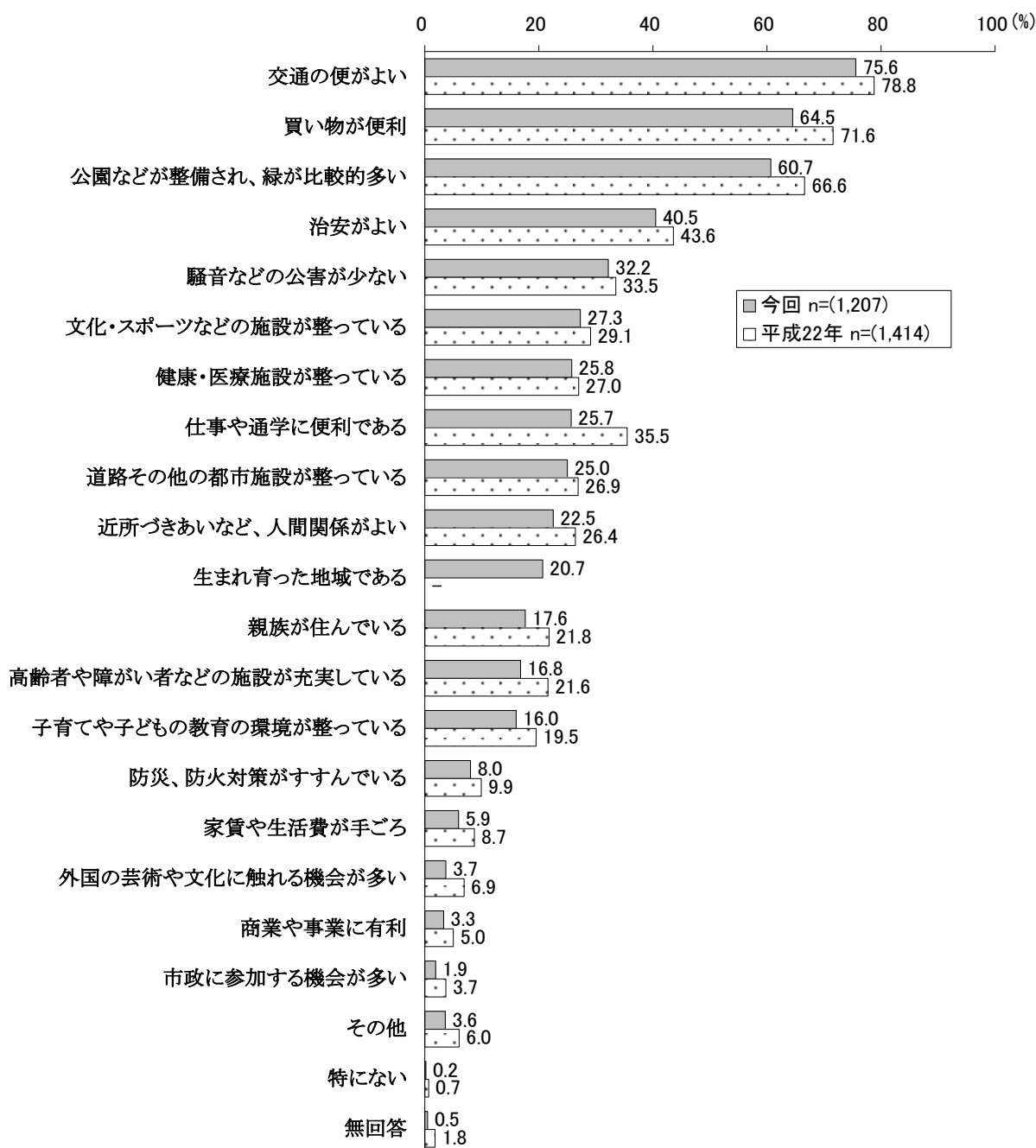
※「住み続けたい」は、平成22年では「できるだけ住み続けたい」の表記となっている。

武蔵野市の定住意向については「住み続けたい」が81.3%で最も多くなっています。「市内の他のところへ移りたい」（4.7%）と合わせると、今後も武蔵野市に住み続けたい方は86.0%という結果になりました。前回調査と比較すると、「住み続けたい」が2.3ポイントの増加となっています。



居住地域別では、「住み続けたい」は吉祥寺地域が84.5%で最も多くなっています。次いで武蔵境地域（80.4%）、中央地域（79.1%）となっています。

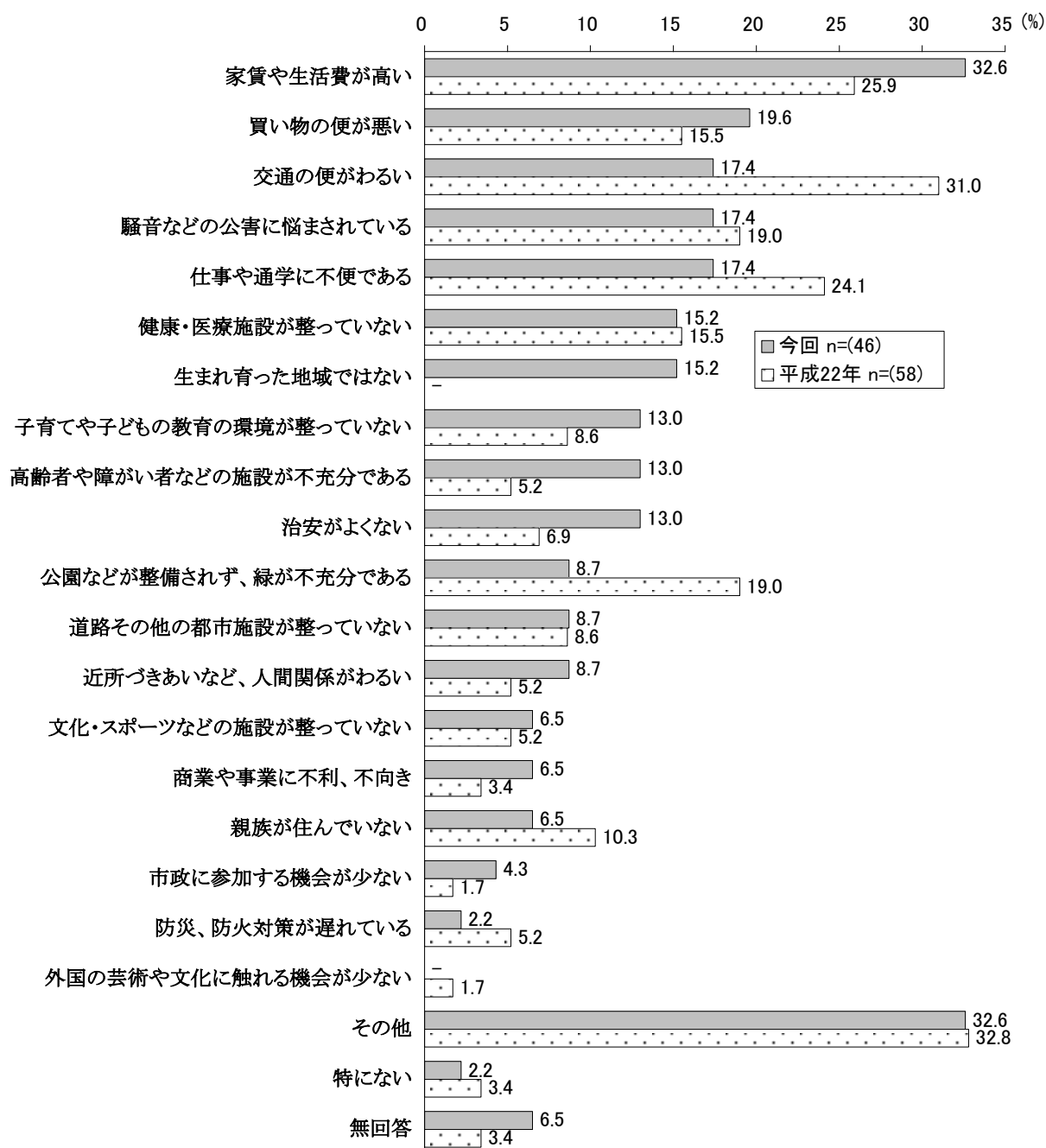
問2－1 定住意向の理由（複数回答）



※「生まれ育った地域である」は、今回のみの選択肢である。

定住意向の理由をうかがったところ、「交通の便がよい」が 75.6%と最も高い結果になりました。次いで「買い物が便利」（64.5%）、「公園などが整備され、緑が比較的多い」（60.7%）までが 50%以上の回答を得ています。前回調査と比較すると、上位3項目は数ポイントそれぞれ減少していますが順位に変化はなく、「仕事や通学に便利である」が約 10 ポイント減少しています。

問2－1 転出意向の理由（複数回答）

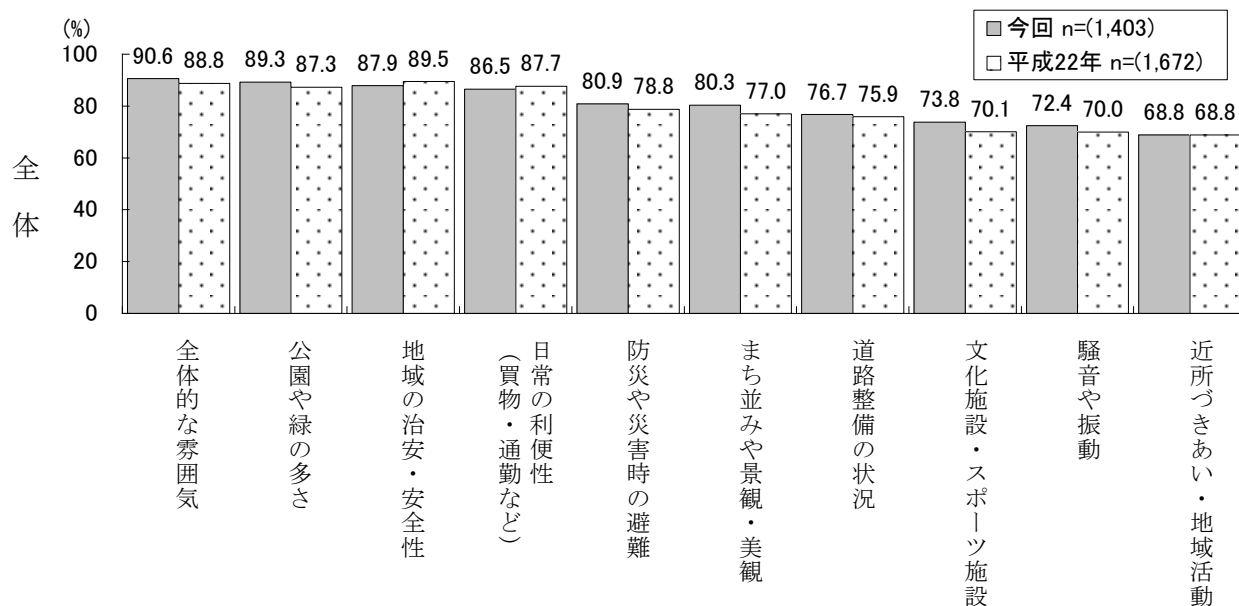


※「生まれ育った地域ではない」は、今回のみの選択肢である。

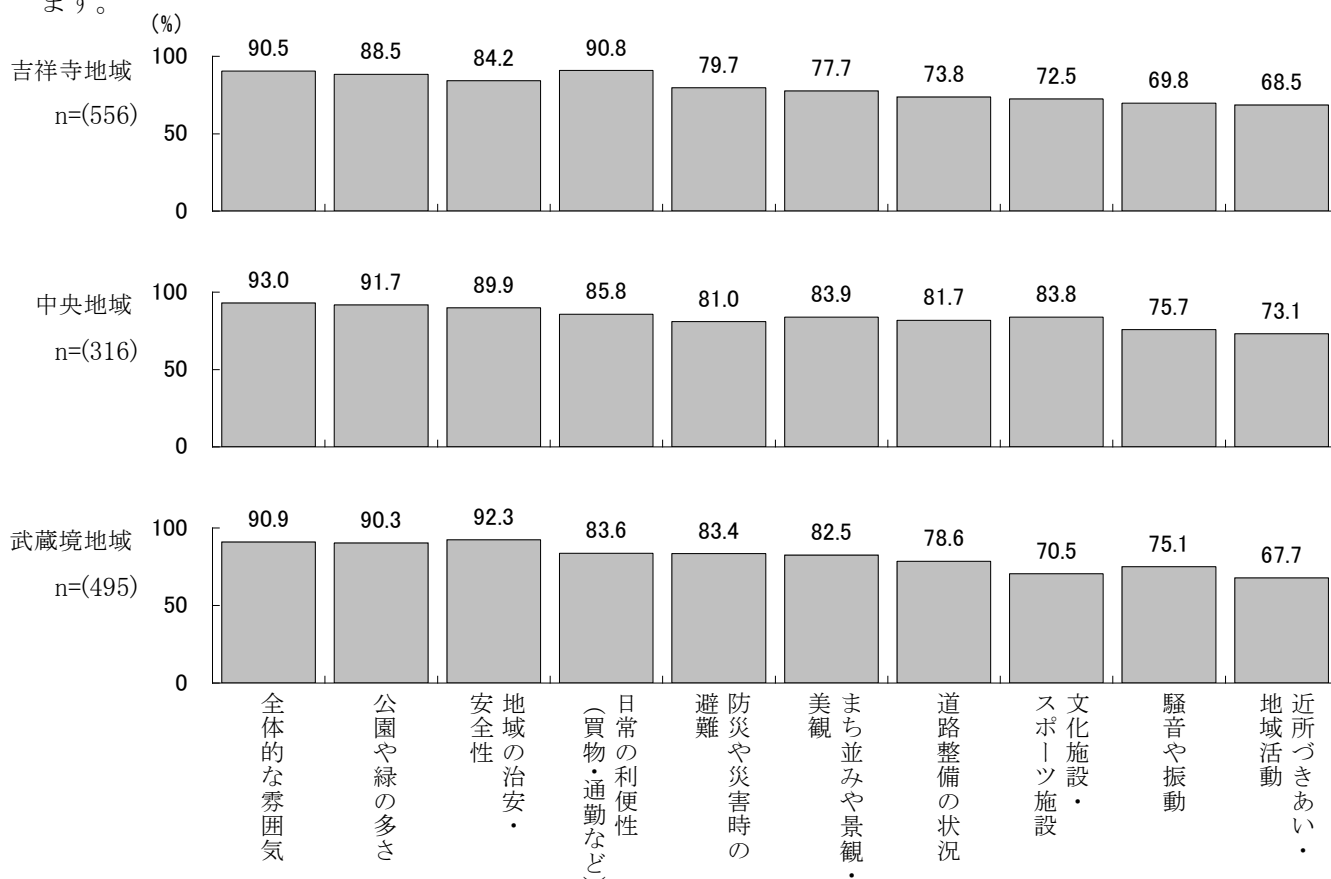
※回答者数は他の設問の回答と比べて少ない（46）。

「武蔵野市以外のところへ移りたい」と回答した46人に転出意向の理由をうかがったところ、「家賃や生活費が高い」が32.6%と最も高くなっています。次いで「買い物の便が悪い」（19.6%）、「交通の便がわるい」、「騒音などの公害に悩まされている」、「仕事や通学に不便である」（いずれも17.4%）が続いています。前回調査では、「交通の便が悪い」が31.0%で最も高く、次いで「家賃や生活費が高い」（25.9%）、「仕事や通学に不便である」（24.1%）となっています。

問3 生活環境の評価（『よい』（「よい」+「まあよい」）の割合）（全体、居住地域別）

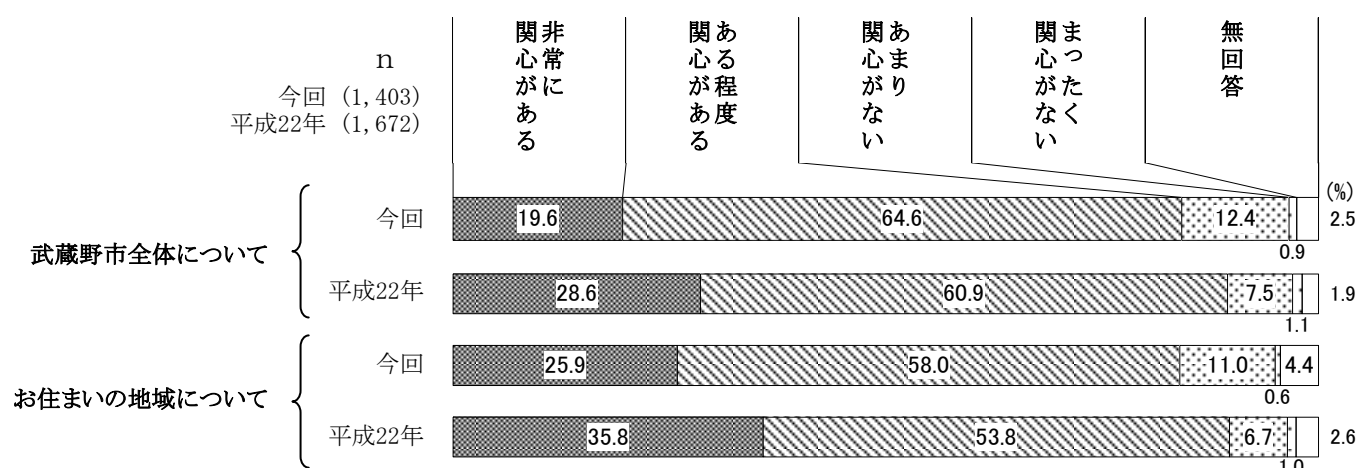


お住まいの地域の生活環境の評価（10項目）については、『よい』は「全体的な雰囲気」（90.6%）が最も多くなっています。次いで、「公園や緑の多さ」（89.3%）、「地域の治安・安全性」（87.9%）、「日常の利便性（買物・通勤など）」（86.5%）、「防災や災害時の避難」（80.9%）、「まち並みや景観・美観」（80.3%）が80%を超えて多くなっています。前回調査とほぼ同様の結果となっています。



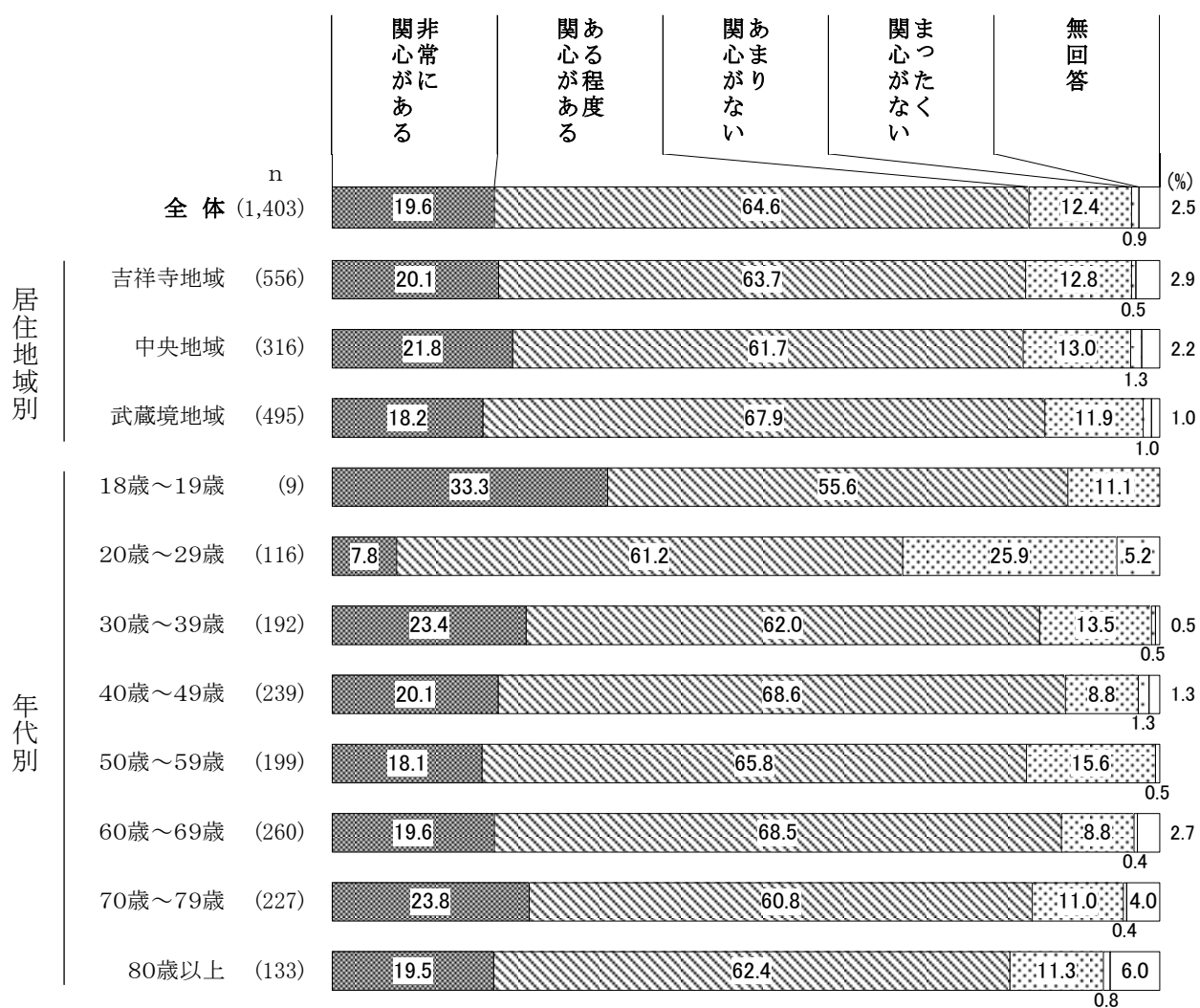
居住地域別で見ると、吉祥寺地域で「日常の利便性（買物・通勤など）」（90.8%）、中央地域では「全体的な雰囲気」（93.0%）、武蔵境地域は「地域の治安・安全性」（92.3%）がそれぞれ最も多くなっています。

問4 武蔵野市全体・お住まいの地域への関心度（全体、居住地域別、年代別）



地域への関心度についてうかがったところ、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》が『武蔵野市全体について』では84.2%、『お住まいの地域について』では83.9%と、ともに80%を超えています。前回調査と比較すると、《関心がある》が『武蔵野市全体について』では5.3ポイント、『お住まいの地域について』では5.7ポイントそれぞれ減少しています。

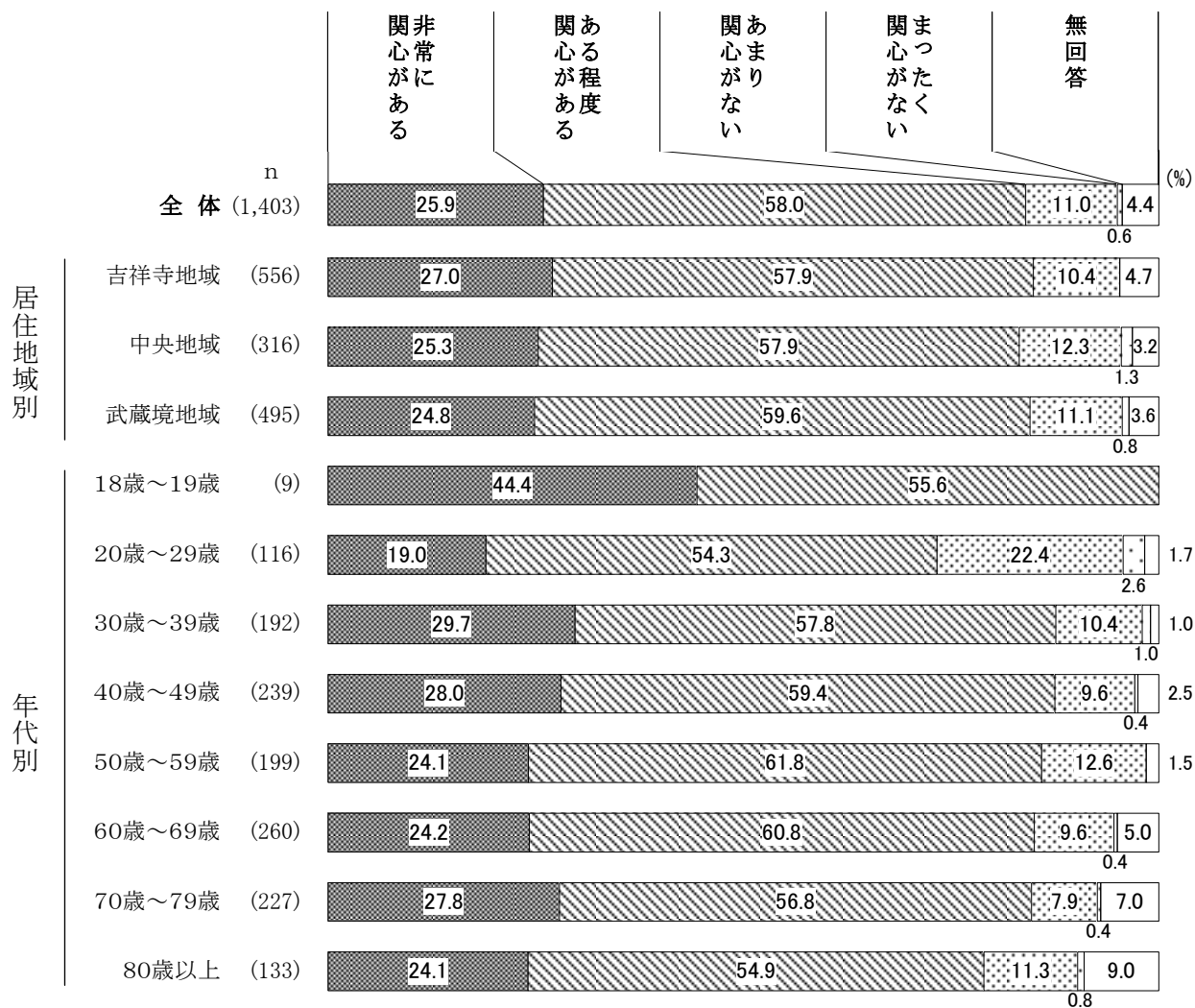
○ 武蔵野市全体について



武蔵野市全体への関心度を居住地域別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》は武蔵境地域（86.1%）、吉祥寺地域（83.8%）、中央地域（83.5%）でいずれの地域でも80%を超えており、割合は数ポイントの差となっています。

年代別では、《関心がある》は、30歳以上で80%を超えており、40歳～49歳で88.7%、60歳～69歳で88.1%と多くなっています。

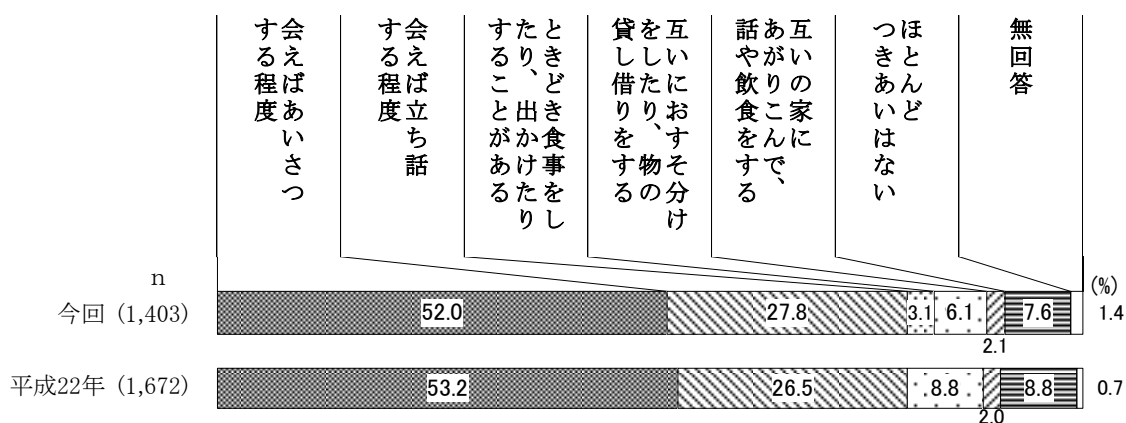
○ お住まいの地域について



お住まいの地域についての関心度を居住地域別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》は吉祥寺地域（84.9%）、武蔵境地域（84.4%）、中央地域（83.2%）でいずれの地域でも80%を超えており、ほぼ同じ割合となっています。

年代別では、《関心がある》は、30歳以上79歳以下で80%を超えています。

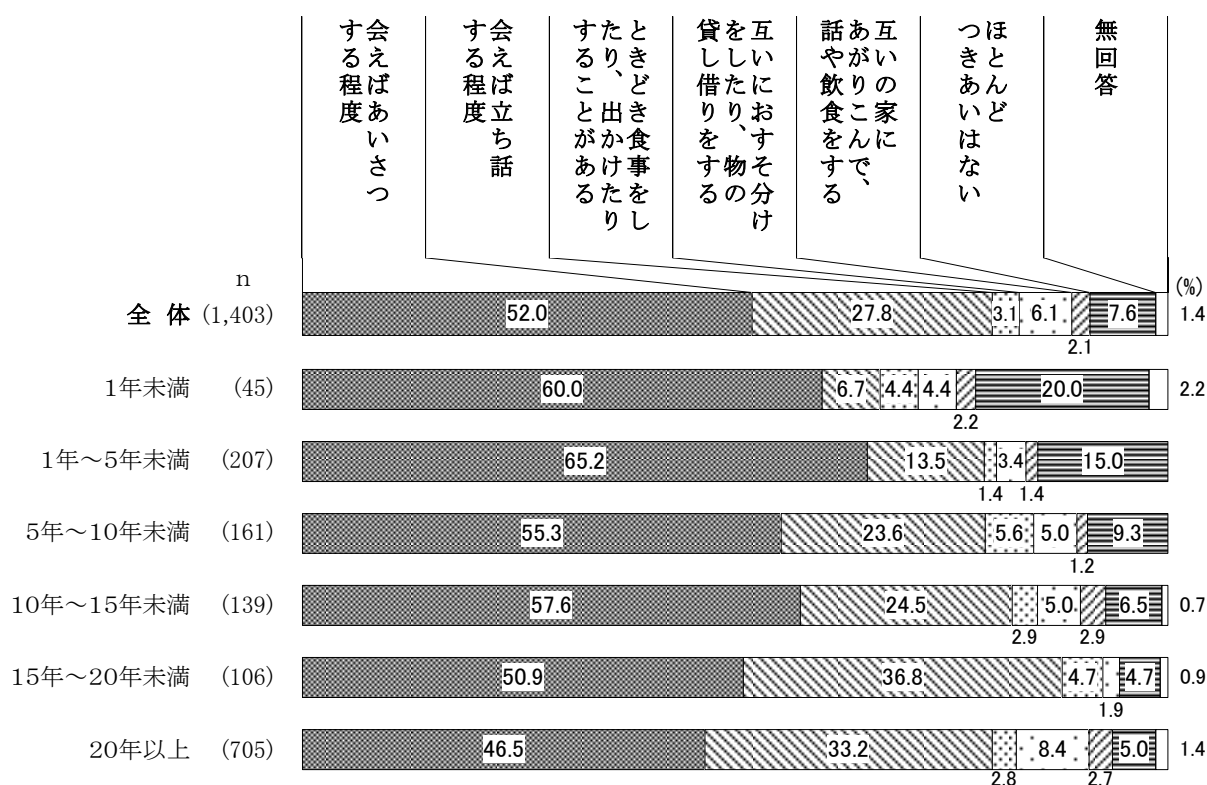
問5 近隣との交際状況（全体、居住年数別）



※「ときどき食事をしたり、出かけた」は、今回のみの選択肢である。

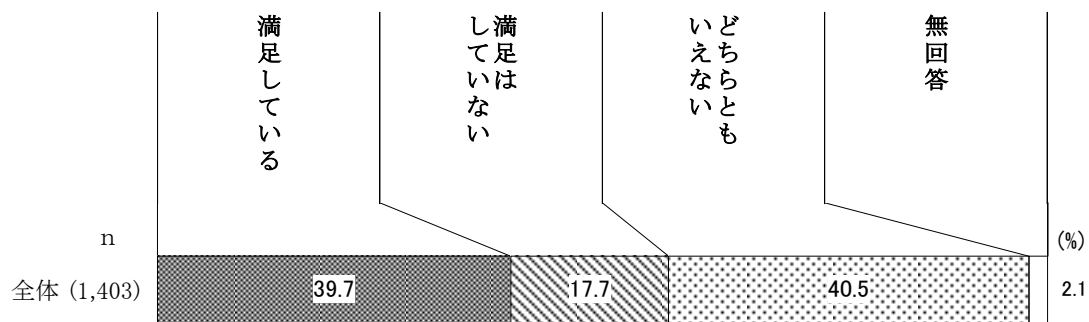
近隣との交際については「会えばあいさつする程度」が52.0%で最も高く、次いで「会えば立ち話する程度」が27.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」が2.7ポイント減少しています。



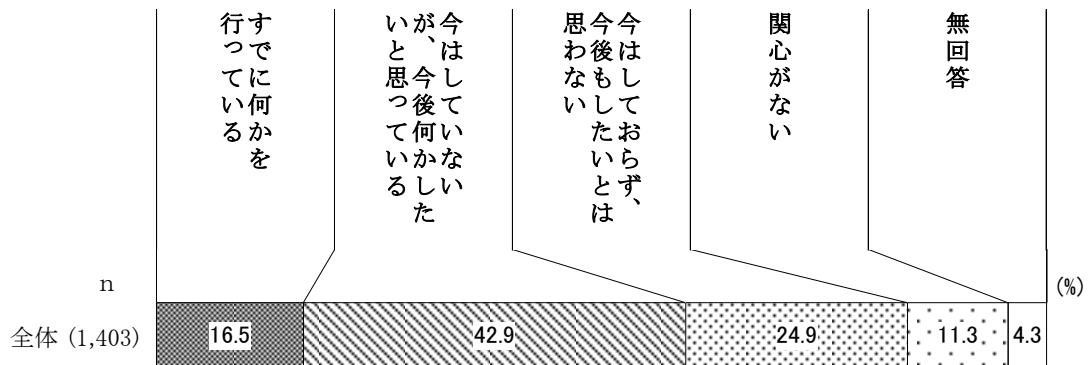
居住年数別に見ると、「会えばあいさつする程度」は20年未満までの年数で50%を超え、1年～5年未満が65.2%で最も高くなっています。「会えば立ち話する程度」は、居住年数が長いほど高くなる傾向にあり、15年～20年未満で36.8%と最も高くなっています。また、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」は20年以上で8.4%と他の居住年数と比較し、近隣との交際の深さがうかがえます。

問6 地域とのつながりの満足度



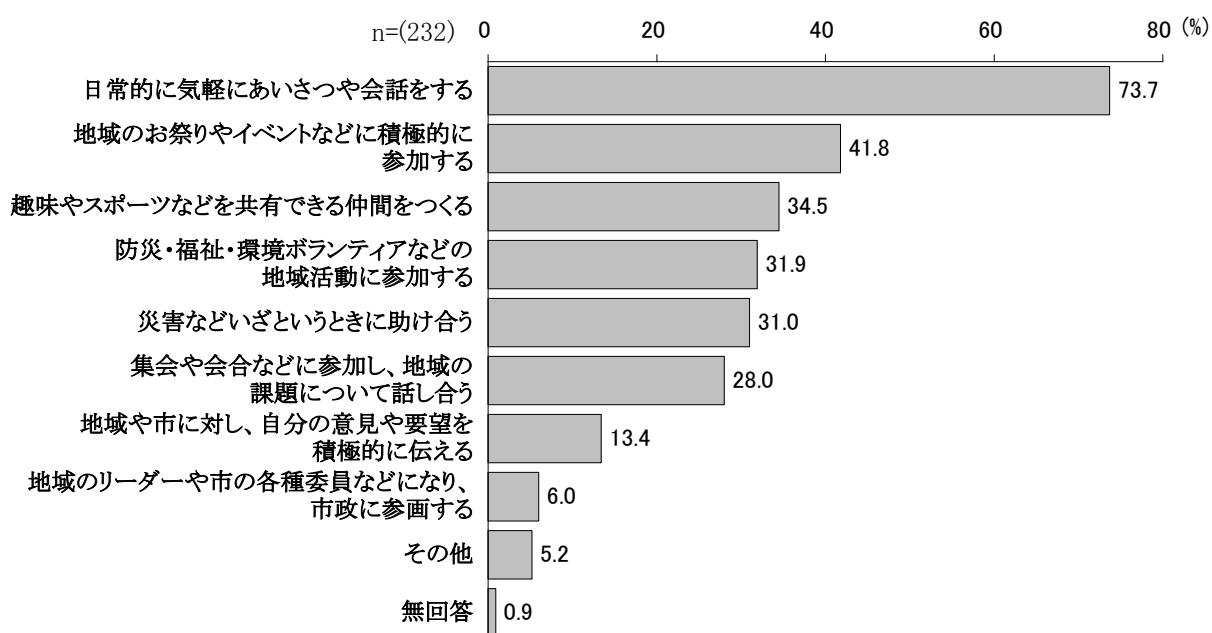
地域とのつながりの満足度をうかがったところ、「満足している」が39.7%、「満足はしていない」が17.7%となっています。

問7 住みやすさ向上の行動状況



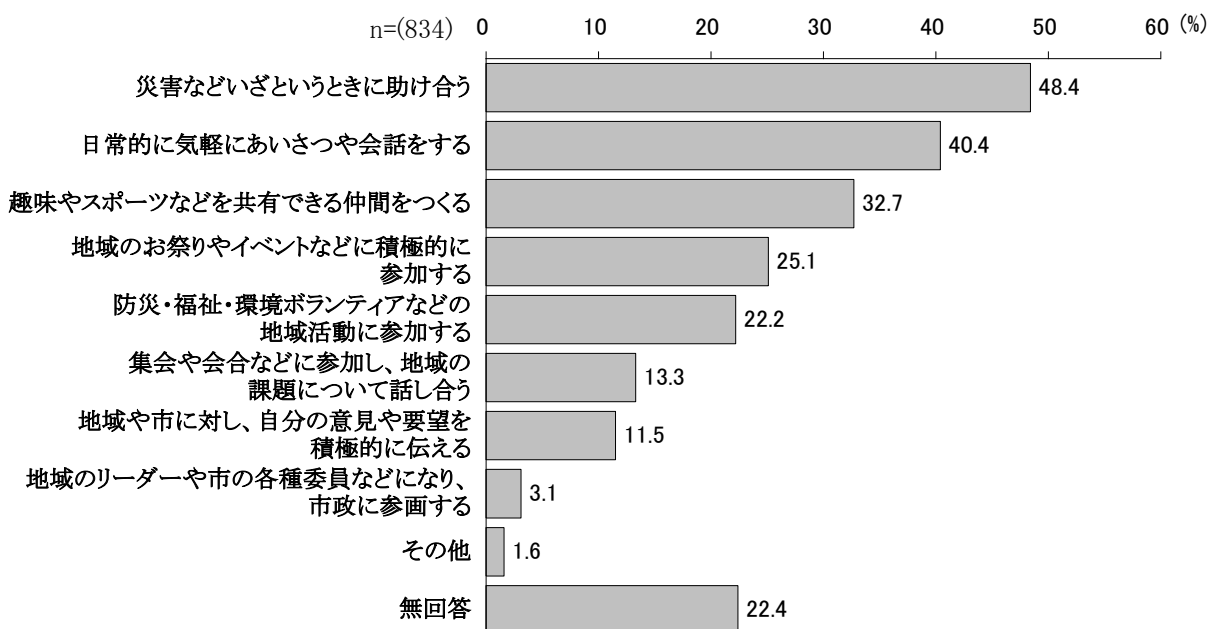
住みやすさ向上の行動状況をうかがったところ、「今はしていないが、今後何かしたいと思っている」が42.9%で最も高く、「すでに何かを行っている」（16.5%）と合わせると、行動意向がある方は59.4%となっています。一方、「今はしていません、今後もしたいとは思わない」は24.9%、「関心がない」は11.3%となっています。

問7-1 住みやすさ向上のためにすでに行っていること（複数回答）



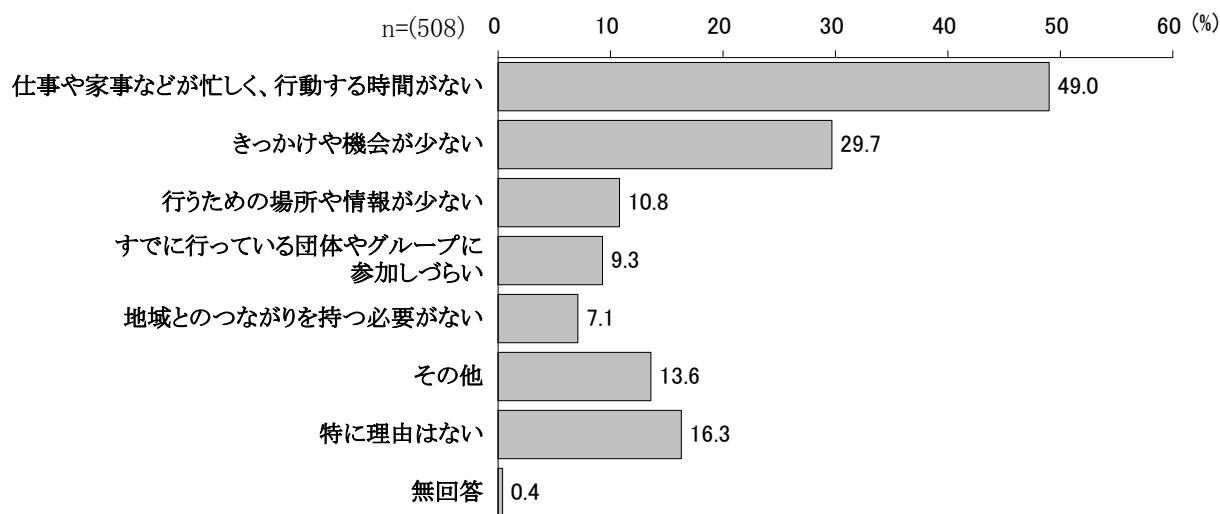
住みやすさ向上のためにすでに行っていることは、「日常的に気軽にあいさつや会話をする」が73.7%と最も高くなっています。次いで「地域のお祭りやイベントなどに積極的に参加する」(41.8%)、「趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる」(34.5%)、「防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する」(31.9%)、「災害などいざというときに助け合う」(31.0%)が続いています。

問7-1 住みやすさ向上のために今後してみたいこと（複数回答）



住みやすさ向上のために今後してみたいことは、「災害などいざというときに助け合う」(48.4%)が最も高くなっています。次いで「日常的に気軽にあいさつや会話をする」(40.4%)、「趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる」(32.7%)、「地域のお祭りやイベントなどに積極的に参加する」(25.1%)が続いています。

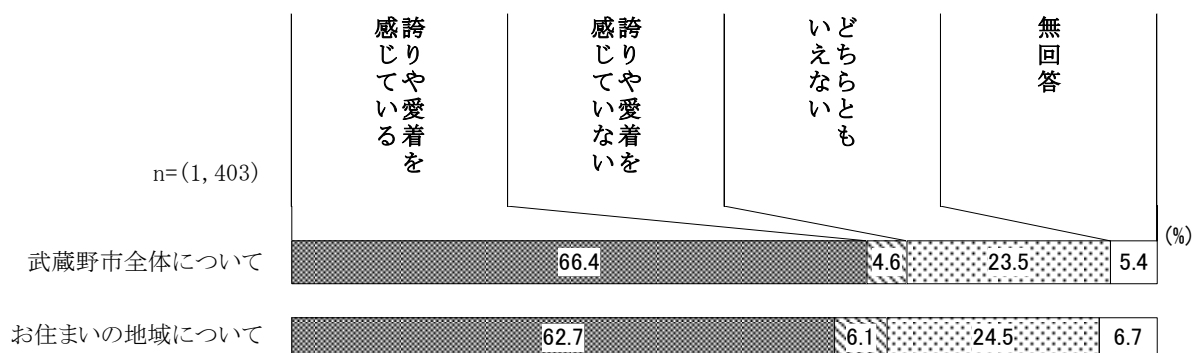
問7-2 住みやすさ向上のために行動したいと思わない、関心がない理由（複数回答）



住みやすさ向上のために行動したいと思わない、関心がない理由としては、「仕事や家事などが忙しく、行動する時間がない」（49.0%）が最も高くなっています。次いで「きっかけや機会が少ない」（29.7%）、「行うための場所や情報が少ない」（10.8%）が続いています。

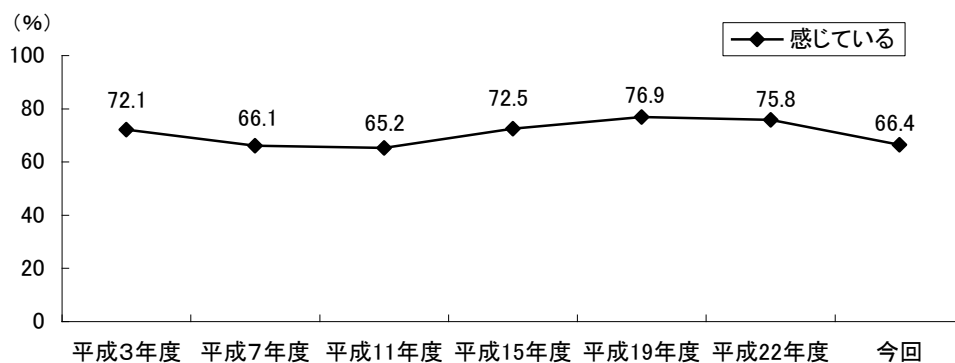
問8 武蔵野市全体・お住まいの地域への誇り・愛着

（全体、武蔵野市全体について／経年比較、居住地域別、年代別）



武蔵野市への誇り・愛着についてうかがったところ、「誇りや愛着を感じている」が『武蔵野市全体について』では66.4%、『お住まいの地域について』では62.7%と、ともに60%を超えています。

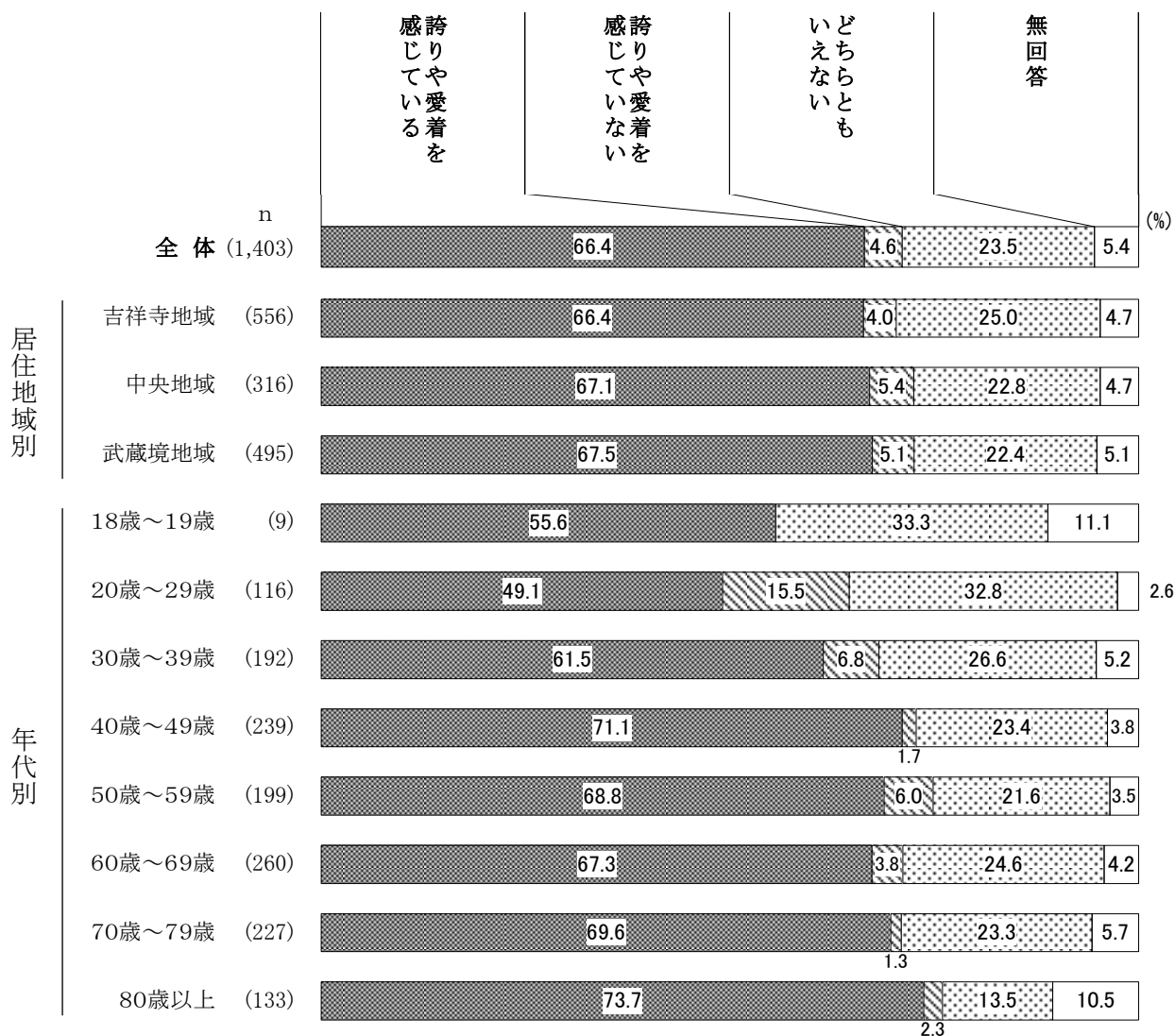
○ 武蔵野市全体への誇り・愛着を「感じる」割合



※平成 15 年度調査以前では、「感じている」は「感じる」の表記となっている。

武蔵野市への誇り・愛着を「感じている」割合を過去の調査と比較すると、平成 22 年度が 75.8%、今回調査では 66.4% で 9.4 ポイント減少しています。

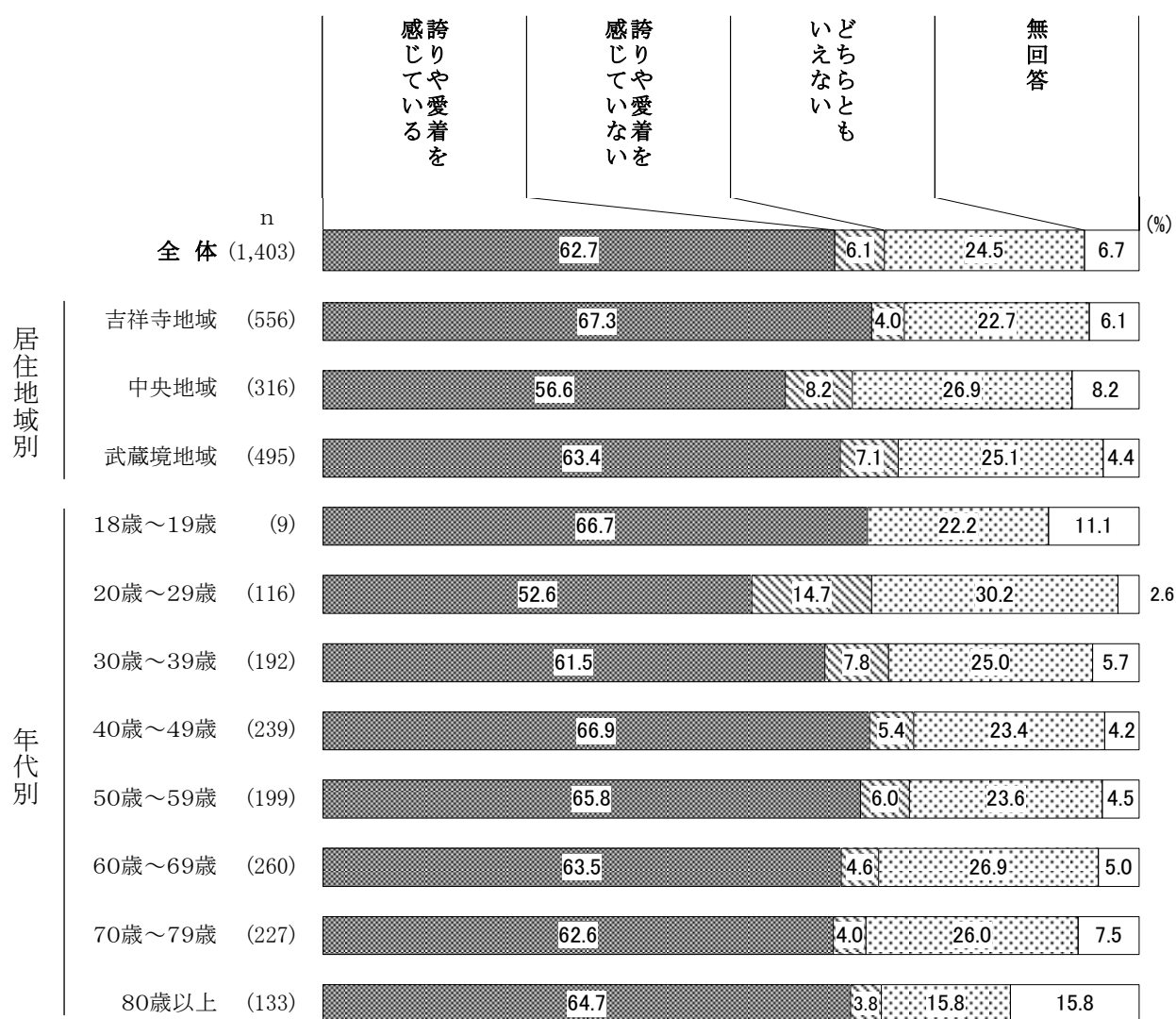
○ 武蔵野市全体について



居住地域別に見ると、いずれの地域も「誇りや愛着を感じている」が6割を超えています。

年代別では、80歳以上と40歳～49歳で70%を超え高くなっています。「誇りや愛着を感じていない」と「どちらともいえない」は20歳～29歳で高くなっています。

○ お住まいの地域について



お住まいの地域への誇り・愛着について居住地別では、「誇りや愛着を感じている」は吉祥寺地域が 67.3%、武蔵境地域は 63.4%でともに 6 割を超え、中央地域は 56.6%でいずれの地域も半数を超えています。

年代別に見ると、「誇りや愛着を感じている」は 30 歳以上で 60%を超えて高くなっています。一方、「誇りや愛着を感じていない」と「どちらともいえない」は 20 歳～29 歳で高くなっています。

2 市政に関する情報提供などについて

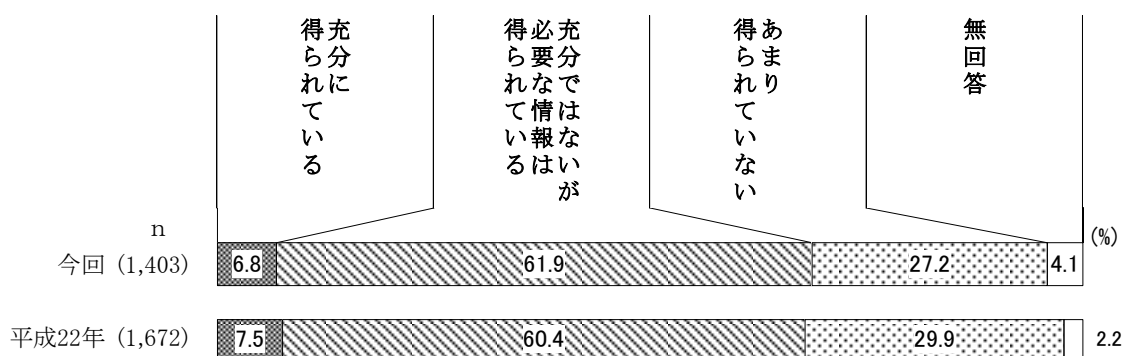
問9 市の事業の認知度（全体、性別、年代別、複数回答）

(%)

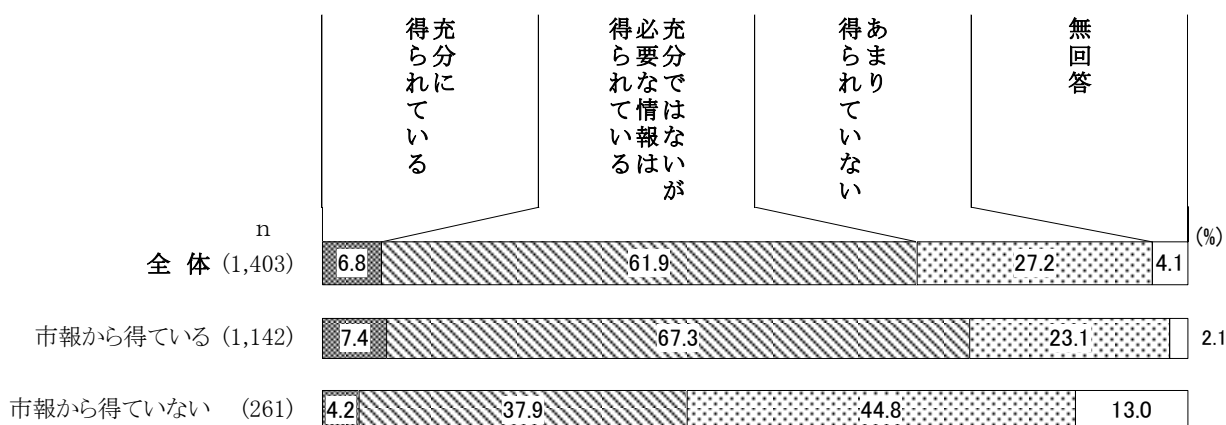
順位	項目	全体	男性	女性	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	80歳 以上
1	生活習慣病の予防やがんの早期発見を目的とした健診等の実施	67.4	58.9	74.6	33.3	36.2	45.8	71.1	73.4	80.0	81.9	66.2
2	ポイ捨て・迷惑喫煙防止の取り組み（マナーポイント（喫煙所）の廃止など）	49.6	48.7	51.0	66.7	39.7	45.8	49.0	49.2	53.1	56.8	47.4
3	武蔵境駅北口広場の整備や吉祥寺駅南北自由通路など駅周辺整備の実施	48.7	48.1	49.9	55.6	43.1	44.8	48.5	52.3	51.9	53.3	42.9
4	新武蔵野クリーンセンター（仮称）の建設	43.8	43.5	44.8	11.1	19.8	30.7	47.7	54.8	51.2	54.2	33.8
5	自転車利用者講習会の実施など自転車マナーの啓発	29.9	24.5	33.6	22.2	21.6	22.9	38.5	36.7	26.2	34.4	19.5
6	むさしの防災安全メールや緊急速報メール、FM、J-COMIによる災害時の情報発信	27.9	22.5	32.5	44.4	18.1	32.3	45.2	33.7	25.8	18.1	13.5
7	「自然観察ハイキング」や「親子deサイエンス」など子ども文化・スポーツ・体験活動事業	27.2	21.0	32.7	22.2	19.0	34.4	42.3	27.6	27.3	22.0	9.0
8	建築物の高さの最高限度の導入	27.2	29.6	25.7	—	12.1	21.4	28.9	29.1	30.4	32.2	31.6
9	公共施設や上下水道の耐震工事、民間住宅の耐震診断や改修費の助成など耐震化の推進	26.2	25.7	27.0	33.3	10.3	14.6	23.4	27.6	33.8	35.2	30.8
10	境こども園や認可・認証保育所など待機児解消に向けた保育施設の新規開設	24.5	18.6	30.0	22.2	20.7	48.4	38.1	21.6	18.8	13.7	8.3
11	住宅用太陽光発電等に対する設置費用助成	23.2	20.5	25.3	11.1	5.2	15.1	27.2	28.6	25.0	31.3	18.8
12	高齢者や障がい者に対する災害時要援護者対策事業の実施	19.5	15.9	22.1	22.2	5.2	10.4	13.4	21.6	23.8	30.0	27.8
13	河川への汚水流出抑制、都市型水害軽減、地下水その他自然環境の保全・回復を目的とした雨水貯留施設、雨水浸透施設等の設置	19.4	16.9	21.6	11.1	5.2	9.9	18.8	17.6	25.0	29.5	22.6
14	市民文化会館改修工事	19.2	17.6	20.7	33.3	10.3	12.0	15.5	17.6	25.0	27.3	21.8
15	障害児支援施策（放課後デイサービス等）	17.0	12.7	20.2	—	13.8	19.3	22.2	22.1	12.3	17.6	8.3
16	子育て支援施設「すくすく泉」のオープン	16.7	9.1	23.1	11.1	17.2	33.3	22.2	14.6	12.3	11.9	6.0
17	吉祥寺の杜公園の新設、仙川水辺環境整備事業など、みどり豊かな住環境の整備	15.7	15.4	16.0	—	21.6	16.1	13.0	15.6	16.9	16.7	12.0
18	地域リハビリテーションの推進	15.6	15.4	15.8	11.1	5.2	7.8	10.0	17.6	16.2	27.3	23.3
19	アトレ内への「吉祥寺まち案内所」開設など観光事業の推進	15.2	15.4	15.0	22.2	18.1	15.1	13.0	14.1	16.2	19.4	8.3
20	景観まちづくりの展開	14.0	13.2	14.8	—	10.3	14.1	13.0	13.6	18.8	13.7	12.0
21	フェイスブックやツイッターによる情報の提供	9.8	7.1	11.8	—	12.9	13.0	15.5	11.6	7.7	5.3	2.3
22	知的障害や肢体不自由など児童一人ひとりの特別な教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	9.2	6.4	11.2	—	3.4	9.9	16.7	11.1	6.9	7.9	3.8
23	歴史資料館（仮称）の開設準備	8.5	8.5	8.9	—	1.7	7.8	7.9	9.0	10.8	10.1	10.5
24	第五期長期計画・調整計画の策定	8.1	9.5	7.2	—	5.2	8.3	7.9	5.0	8.1	14.1	6.0
25	これからの地域コミュニティの検討	7.3	6.1	8.2	—	3.4	5.7	9.2	5.5	7.3	10.6	7.5
26	小・中学校のICT環境の整備	7.2	7.3	7.3	—	3.4	6.8	15.1	7.5	6.2	4.8	3.8
27	中小企業への資金融資斡旋や起業支援	6.0	6.9	5.1	—	0.9	2.1	8.8	8.5	7.3	7.5	2.3
28	水道事業の都営一元化	6.0	7.4	4.9	—	4.3	7.8	2.1	6.0	8.1	7.5	5.3
29	財政援助出資団体（市の外郭団体）の見直し	4.6	5.8	3.7	—	0.9	3.1	3.3	4.0	5.4	8.8	4.5
30	公共施設再編の検討	4.5	5.1	4.1	—	—	2.1	3.3	5.5	6.2	7.5	4.5
—	無回答	8.1	9.6	5.9	—	19.8	10.9	5.0	6.5	5.8	3.1	9.8

市の事業 30 項目の認知度をうかがいました。特に認知度が高かったのは「生活習慣病の予防やがんの早期発見を目的とした健診等の実施」(67.4%)となっており、以下「ポイ捨て・迷惑喫煙防止の取り組み(マナーポイント(喫煙所)の廃止など)」(49.6%)、「武蔵境駅北口広場の整備や吉祥寺駅南北自由通路など駅周辺整備の実施」(48.7%)、「新武蔵野クリーンセンター(仮称)の建設」(43.8%)などが続いています。

問 10 市の情報の入手状況(全体、市報からの入手の有無別)



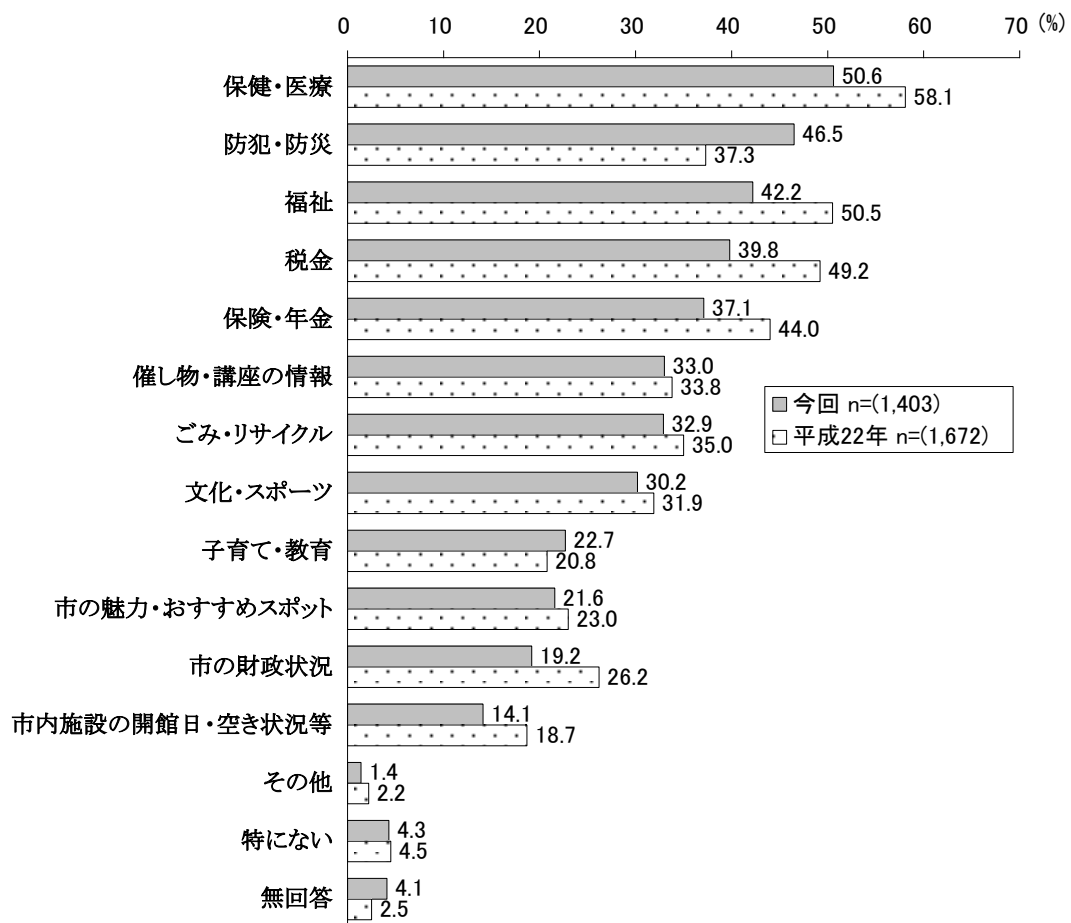
市の情報の入手状況をうかがったところ、「充分ではないが必要な情報は得られている」が 61.9%と過半数を占めました。次いで「あまり得られていない」は 27.2%と「充分ではないが必要な情報は得られている」の半分以下となりました。前回調査と比較すると、「あまり得られていない」が 2.7ポイント減少しています。



※「市報から得ている」は、『問 12 市政情報の入手手段』で「市報」を回答した人、「市報から得ていない」は、『問 12 市政情報の入手手段』で「市報」と回答していない人を指しています。

市報からの入手の有無別に見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」は市報から得ている人が 67.3%に対して、市報から得ていない人では 37.9%と 29.4ポイント低くなっています。また、「あまり得られていない」は、市報から得ていない人で 44.8%と多くなっています。

問 11 知りたい市政情報（全体、年代別、複数回答）



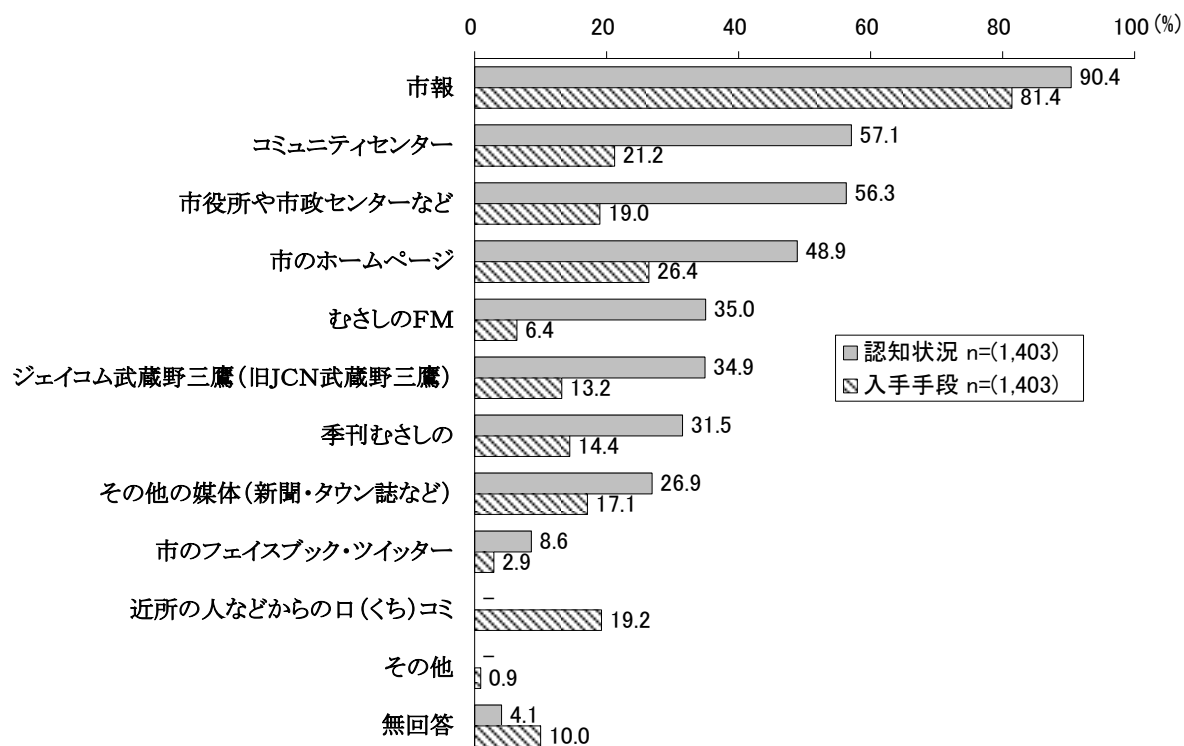
知りたい市政情報としては、「保健・医療」が50.6%と最も高く、半数を超えています。次いで「防犯・防災」（46.5%）、「福祉」（42.2%）、「税金」（39.8%）、「保険・年金」（37.1%）が続いています。上位項目を前回調査と比較すると、「税金」は9.4ポイント、「福祉」8.3ポイント、「保健・医療」7.5ポイント、「保険・年金」は6.9ポイントそれぞれ減少し、「防犯・防災」は9.2ポイント増加しています。

(%)

		調査数 (n)	保健・医療	防犯・防災	福祉	税金	保険・年金	催し物・講座の 情報	ごみ・リサイクル	文化・スポーツ	子育て・教育	市の魅力・おすすめ スポット	市の財政状況	市内施設の開館日・ 空き状況等
全 体		1,403	50.6	46.5	42.2	39.8	37.1	33.0	32.9	30.2	22.7	21.6	19.2	14.1
年代別	18歳～19歳	9	66.7	55.6	33.3	77.8	22.2	22.2	11.1	44.4	11.1	33.3	22.2	11.1
	20歳～29歳	116	37.9	38.8	22.4	50.9	31.0	29.3	26.7	29.3	31.0	29.3	10.3	19.8
	30歳～39歳	192	52.6	51.6	27.1	43.2	29.7	44.3	32.8	40.1	63.5	32.3	17.7	18.2
	40歳～49歳	239	54.8	53.1	39.7	38.9	35.1	39.3	39.7	40.2	40.2	23.8	20.1	18.8
	50歳～59歳	199	47.2	45.7	49.2	41.7	44.2	27.1	36.2	31.7	13.1	15.1	20.6	12.6
	60歳～69歳	260	50.4	48.8	48.1	39.2	42.7	33.8	36.9	30.4	7.3	17.3	18.5	13.1
	70歳～79歳	227	58.1	43.6	53.3	38.3	40.1	28.2	30.4	22.0	6.6	22.0	23.8	11.9
	80歳以上	133	47.4	38.3	46.6	30.1	36.1	24.1	23.3	13.5	1.5	14.3	18.8	5.3

年代別で見ると、「保健・医療」では70歳～79歳が58.1%で最も高く、40歳～49歳および30歳～39歳、60歳～69歳も50%を超え高い割合となっています。「防犯・防災」では、40歳～49歳、30歳～39歳で50%を超え、「福祉」では70歳～79歳で53.3%、「税金」は20歳～29歳で50.9%となっています。「保険・年金」では、50歳以上79歳以下で40%を超え高い割合となっています。

問 12 広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段（複数回答）

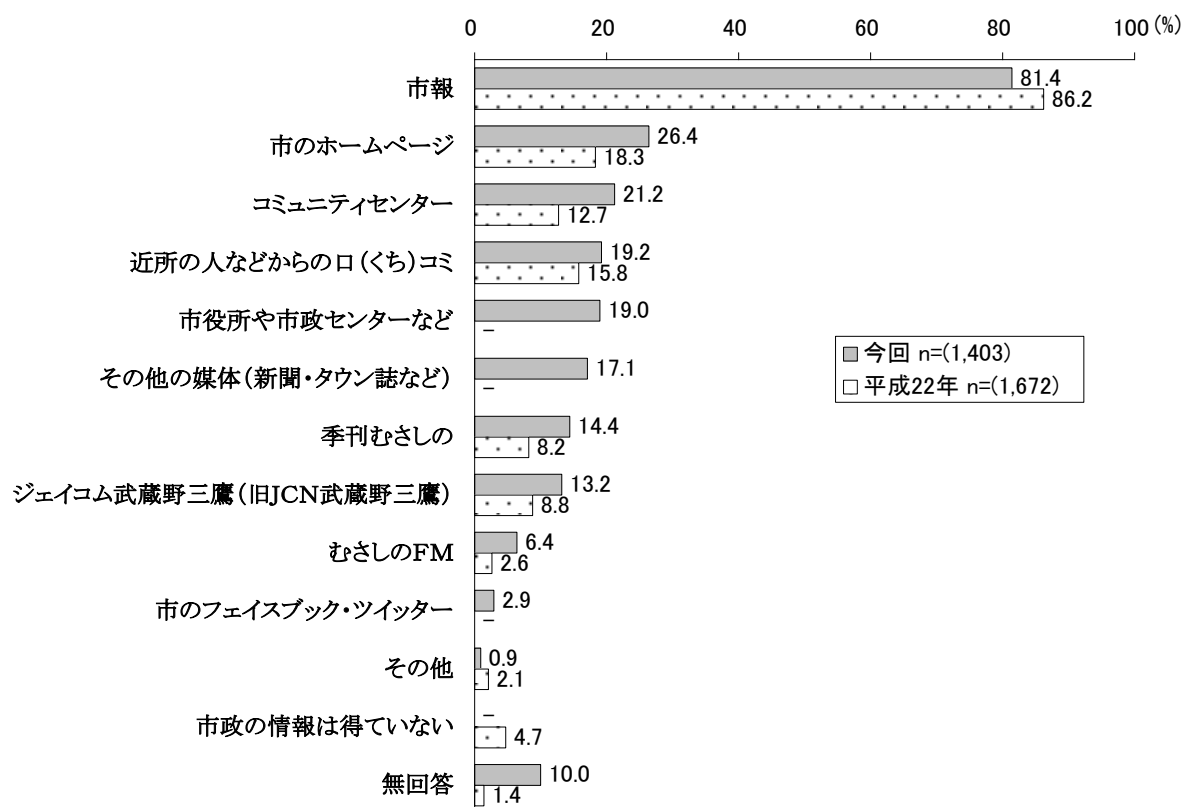


※「近所の人などからの口(くち)コミ」「その他」は、入手手段のみの選択肢である。

市政情報の広報媒体の認知状況をおうかがいしました。特に認知度が高かったのは「市報」(90.4%)となっており、以下「コミュニティセンター」(57.1%)、「市役所や市政センターなど」(56.3%)、「市のホームページ」(48.9%)などが続いています。

市政の情報の入手手段としては、認知状況と同じく「市報」(81.4%)が最も高くなっています。以下「市のホームページ」(26.4%)、「コミュニティセンター」(21.2%)、「近所の人などからの口(くち)コミ」(19.2%)、「市役所や市政センターなど」(19.0%)などが続いています。

○ 市政情報の入手手段（全体、年代別、複数回答）



※「ジェイコム武蔵野三鷹（旧JCN武蔵野三鷹）」「コミュニティセンター」は、平成22年には「むさしのみたかケーブルテレビの広報番組」「コミュニティセンターのニュースや掲示板」の表記となっている。「市のフェイスブック・ツイッター」「その他の媒体（新聞・タウン誌など）」「市役所や市政センターなど」は、今回のみの選択肢である。「市政の情報は得ていない」は、平成22年のみの選択肢である。

市政の情報の入手手段を前回調査と比較すると、「市報」は4.8ポイント減少し、「市のホームページ」8.1ポイント、「コミュニティセンター」8.5ポイント、「近所の人などからの口（くち）コミ」3.4ポイントなど、他の媒体は増加しています。

(%)													
	調査数（n）	市報	市のホームページ	コミュニティセンター	近所の人などからの口（くち）コミ	市役所や市政センターなど	その他の媒体（新聞・タウン誌など）	季刊むさしの	ジェイコム武蔵野三鷹（旧JCN武蔵野三鷹）	むさしのFM	市のフェイスブック・ツイッター	その他	無回答
全 体	1,403	81.4	26.4	21.2	19.2	19.0	17.1	14.4	13.2	6.4	2.9	0.9	10.0
年代別	18歳～19歳	9	55.6	11.1	44.4	－	11.1	11.1	－	22.2	－	－	－
	20歳～29歳	116	57.8	21.6	8.6	10.3	6.0	9.5	6.0	8.6	1.7	9.5	19.8
	30歳～39歳	192	76.6	39.1	16.1	18.2	16.7	9.4	7.8	13.5	1.0	5.2	14.1
	40歳～49歳	239	86.2	45.6	17.6	25.1	19.7	15.9	13.8	18.8	5.0	5.4	4.2
	50歳～59歳	199	86.9	32.7	13.1	17.1	16.6	20.1	12.6	11.1	8.5	1.0	8.5
	60歳～69歳	260	88.1	22.3	20.8	14.2	19.2	21.5	15.0	15.4	8.8	0.8	6.2
	70歳～79歳	227	85.5	11.9	36.6	26.0	26.9	22.0	22.5	13.2	10.1	－	7.0
	80歳以上	133	78.9	8.3	30.1	23.3	24.1	18.8	22.6	5.3	6.8	1.5	15.0

年代別に見ると、「市報」が40歳以上79歳以下で80.0%を超えて高い割合となっており、中でも60歳～69歳では88.1%で最も高くなっています。「市のホームページ」は40歳～49歳が45.6%で最も高く、「コミュニティセンター」（36.6%）、「近所の人などからの口（くち）コミ」（26.0%）、「市役所や市政センターなど」（26.9%）でいずれも70歳～79歳が最も高くなっています。

3 市の施策に対する満足度・重要度について

問 13 市の施策に対する満足度・重要度（全体、性別、年代別）

市の施策を 24 項目に分けて、満足度・重要度をお聞きしました。満足度は「上・下水道」、「緑化・水辺空間」、「ごみ対策」、「健康づくり」、「文化・学習・スポーツ」が 60%を超え、「交通・道路」、「放置自転車対策」も 50%を超える値を示しています。また重要度は、「災害対策」、「上・下水道」、「交通・道路」、「安全対策」が特に高い値を示しています。

（満足度順）

順位	項目	満足度	前回
1	上・下水道	67.3 ↑	60.3
2	緑化・水辺空間	67.1 ↑	60.7
3	ごみ対策	64.4 ↑	54.6
4	健康づくり	63.6 ↑	50.2
5	文化・学習・スポーツ	63.4 ↑	40.4
6	交通・道路	56.4 ↑	48.6
7	放置自転車対策	53.0 ↑	26.9
8	生活環境対策	49.3	—
9	まちづくり・都市整備	45.3 ↑	40.0
10	安全対策	43.0 ↓	54.2
11	環境対策	40.7 ↑	31.1
12	災害対策	37.9 ↓	44.0
13	情報の収集・発信	34.7 ↑	28.8
14	住宅政策	33.5 ↑	24.6
15	市民参加・市民活動	30.3 ↑	28.9
16	行財政改革	30.1 ↑	23.1
17	地域活動・地域支援	29.5 ↑	17.9
18	高齢者福祉	29.4 ↑	26.3
19	青少年施策	28.1 ↑	20.8
20	産業・消費生活	27.4 ↓	28.4
21	小・中学校教育	26.0 ↑	20.4
22	子育て支援	23.8 ↑	23.3
23	障がい者福祉	23.6 ↑	17.6
24	平和・都市交流・国際交流	21.4 ↓	23.8

（重要度順）

順位	項目	重要度	前回
1	災害対策	88.0 ↓	92.5
2	上・下水道	87.8 ↓	89.2
3	交通・道路	87.6 ↑	84.9
4	安全対策	87.5 ↓	88.0
5	高齢者福祉	85.8 ↓	92.1
6	健康づくり	85.5 ↓	90.1
7	放置自転車対策	85.3 ↓	88.5
8	ごみ対策	85.1 ↓	88.6
9	緑化・水辺空間	85.0 ↓	85.1
10	環境対策	84.7 ↑	84.3
11	生活環境対策	84.6	—
12	子育て支援	84.2 ↓	86.5
13	地域活動・地域支援	83.2 ↓	85.9
14	障がい者福祉	82.7 ↓	87.8
15	行財政改革	82.6 ↓	86.2
16	小・中学校教育	81.5 ↓	85.4
17	文化・学習・スポーツ	81.4 ↑	80.3
18	まちづくり・都市整備	81.0 ↑	80.2
19	住宅政策	79.7 ↓	81.2
20	青少年施策	79.2 ↓	81.0
21	産業・消費生活	78.1 ↑	76.4
22	情報の収集・発信	73.7 ↓	74.4
23	市民参加・市民活動	69.7 ↓	70.5
24	平和・都市交流・国際交流	66.8 ↑	61.2

※満足度・重要度の計算方法：

『満足』＝「満足」＋「ある程度満足」 『重要』＝「重要」＋「ある程度重要」

○ 市の施策に対する満足度

順位	項目	満足度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	上・下水道	67.3	72.2	64.1	66.7	44.0	60.9	69.5	71.9	69.6	75.3	70.6
2	緑化・水辺空間	67.1	67.8	67.3	66.6	56.9	69.2	72.4	70.9	66.2	67.9	60.9
3	ごみ対策	64.4	62.7	66.1	66.7	44.0	58.3	64.5	67.4	69.6	73.1	63.1
4	健康づくり	63.6	57.5	69.1	33.3	48.3	53.1	72.8	68.4	64.2	70.9	60.9
5	文化・学習・スポーツ	63.4	64.4	63.5	88.8	63.8	69.3	71.1	66.4	58.1	59.5	54.9
6	交通・道路	56.4	56.6	56.6	77.8	50.8	53.1	60.6	55.2	54.2	59.0	59.4
7	放置自転車対策	53.0	55.7	51.8	55.6	34.5	52.1	59.4	56.3	55.4	56.9	45.9
8	生活環境対策	49.3	48.9	50.3	55.6	37.9	50.5	54.8	52.7	49.2	54.2	36.8
9	まちづくり・都市整備	45.3	45.4	46.0	66.7	39.7	46.3	48.1	44.2	44.6	51.1	37.6
10	安全対策	43.0	45.1	42.0	44.4	31.1	39.0	48.5	47.7	43.1	45.8	40.6
11	環境対策	40.7	44.8	38.1	22.2	21.5	31.3	42.7	46.2	48.9	49.3	32.3
12	災害対策	37.9	40.5	36.4	44.4	23.3	38.6	40.6	37.7	35.8	42.7	42.1
13	情報の収集・発信	34.7	35.6	34.7	55.5	25.9	33.9	43.1	35.2	34.6	33.0	33.1
14	住宅政策	33.5	36.2	32.0	22.2	26.7	27.1	33.5	36.7	33.1	41.4	34.6
15	市民参加・市民活動	30.3	30.7	30.1	44.4	20.7	26.0	31.8	32.7	29.3	36.1	30.1
16	行財政改革	30.1	34.9	27.1	11.1	23.2	26.0	33.9	33.1	31.9	29.5	32.4
17	地域活動・地域支援	29.5	30.2	28.5	11.1	22.4	18.7	29.3	33.7	30.0	34.4	35.4
18	高齢者福祉	29.4	32.4	27.2	33.3	12.0	17.2	21.8	36.7	33.9	38.8	40.6
19	青少年施策	28.1	27.3	29.0	77.8	20.7	22.9	47.3	37.6	21.9	21.6	13.5
20	産業・消費生活	27.4	30.0	26.1	44.4	21.6	32.3	28.0	35.2	24.2	27.8	20.3
21	小・中学校教育	26.0	27.1	25.7	55.5	21.5	20.3	44.3	35.1	19.6	18.9	15.8
22	子育て支援	23.8	24.9	23.7	33.3	13.0	30.2	40.2	27.6	17.3	17.2	15.0
23	障がい者福祉	23.6	27.0	21.1	33.3	14.6	17.1	23.9	29.1	25.3	26.4	22.6
24	平和・都市交流・国際交流	21.4	24.0	19.4	22.2	17.3	16.1	21.8	21.6	23.5	25.1	21.0

性別で見ると、男性では「上・下水道」が満足度1位で72.2%、次いで「緑化・水辺空間」、「文化・学習・スポーツ」、「ごみ対策」がそれぞれ60%を超えて高い割合となっています。女性では、「健康づくり」が満足度第1位で69.1%、次いで「緑化・水辺空間」、「ごみ対策」、「上・下水道」、「文化・学習・スポーツ」がそれぞれ60%を超えています。

年代別では、50歳以上で「上・下水道」が満足度1位となっており、「健康づくり」は40歳～49歳で満足度1位、「文化・学習・スポーツ」は20歳以上39歳以下で満足度1位となっています。

○ 市の施策に対する重要度

順位	項目	重要度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	災害対策	88.0	90.3	88.2	100.0	95.7	96.8	93.3	94.9	92.3	78.0	64.7
2	上・下水道	87.8	87.7	89.3	100.0	91.4	94.3	92.1	91.0	91.1	82.8	69.9
3	交通・道路	87.6	88.2	89.0	100.0	95.7	94.2	91.2	91.4	90.0	82.9	69.2
4	安全対策	87.5	89.7	87.6	100.0	94.0	95.3	93.3	92.4	93.1	77.9	65.4
5	高齢者福祉	85.8	86.8	87.0	88.9	89.6	91.7	89.6	93.4	89.6	79.3	67.0
6	健康づくり	85.5	85.3	87.6	100.0	94.8	94.3	91.2	91.0	87.7	77.9	61.7
7	放置自転車対策	85.3	85.4	86.8	77.7	87.1	90.1	89.1	89.4	88.8	82.4	69.9
8	ごみ対策	85.1	85.4	86.4	100.0	90.5	92.8	88.7	89.5	90.8	76.7	64.7
9	緑化・水辺空間	85.0	87.1	85.1	88.9	92.3	94.8	86.2	88.5	89.6	78.8	65.4
10	環境対策	84.7	85.2	85.8	100.0	85.3	93.3	88.2	90.4	88.5	80.2	63.1
11	生活環境対策	84.6	84.3	86.4	100.0	92.3	94.3	85.3	87.9	86.6	78.8	69.9
12	子育て支援	84.2	85.3	85.0	100.0	95.7	96.4	87.1	88.9	88.1	74.9	57.9
13	地域活動・地域支援	83.2	84.0	84.7	100.0	88.0	94.3	88.7	88.9	86.9	74.9	58.7
14	障がい者福祉	82.7	84.5	83.3	88.9	88.8	91.6	87.0	91.9	84.6	77.1	55.7
15	行財政改革	82.6	83.5	83.5	100.0	81.0	88.0	87.1	83.9	88.1	81.1	64.6
16	小・中学校教育	81.5	83.6	81.6	88.9	87.9	92.2	85.4	85.9	86.1	74.0	57.2
17	文化・学習・スポーツ	81.4	82.9	81.7	88.8	87.1	92.2	85.8	83.4	85.4	71.4	64.6
18	まちづくり・都市整備	81.0	81.9	81.9	100.0	82.7	88.0	82.9	81.4	85.8	79.3	63.9
19	住宅政策	79.7	79.5	81.4	100.0	87.1	86.0	77.5	83.5	84.6	78.4	60.9
20	青少年施策	79.2	78.9	80.9	100.0	81.0	89.6	82.8	81.9	85.8	71.8	55.7
21	産業・消費生活	78.1	79.7	78.4	100.0	84.5	87.5	81.2	83.4	81.9	70.9	54.9
22	情報の収集・発信	73.7	74.2	74.5	88.9	68.1	79.1	76.6	75.9	79.6	74.0	54.9
23	市民参加・市民活動	69.7	69.2	71.4	77.8	75.0	72.4	71.1	68.9	74.6	72.3	51.1
24	平和・都市交流・国際交流	66.8	64.9	69.7	88.9	68.9	68.7	69.8	62.8	71.9	71.8	49.6

性別で見ると、男性では「災害対策」、女性では「上・下水道」がそれぞれ重要度1位になっています。24項目のうち、男性では18項目、女性では20項目が80%を超え高い割合となっています。

年代別では、20歳以上59歳以下で「災害対策」が重要度1位となっており、「上・下水道」は80歳以上で重要度1位、「交通・道路」は70歳～79歳、「安全対策」は60歳～69歳でそれぞれ重要度1位となっています。また、「子育て支援」は20歳以上39歳以下で重要度が高くなっています。

◎ 市の施策に対するニーズ得点（全体、性別、年代別、プロット図）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めました。

【ニーズ得点】は、「安全対策」（8.601）が最も高く、「災害対策」（8.479）が次いで高くなっています。以下、「高齢者福祉」（8.402）、「子育て支援」（8.293）、「行財政改革」（8.228）が続いています。

（得点順）

順位	項目	得点 ニーズ
1	安全対策	8.601
2	災害対策	8.479
3	高齢者福祉	8.402
4	子育て支援	8.293
5	行財政改革	8.228
6	交通・道路	8.036
7	放置自転車対策	8.029
8	地域活動・地域支援	7.896
9	生活環境対策	7.884
10	障がい者福祉	7.717
11	住宅政策	7.508
12	まちづくり・都市整備	7.464

順位	項目	得点 ニーズ
13	環境対策	7.269
14	産業・消費生活	7.227
15	ごみ対策	7.094
16	健康づくり	7.090
17	小・中学校教育	7.035
18	上・下水道	6.982
19	情報の収集・発信	6.881
20	青少年施策	6.684
21	市民参加・市民活動	6.672
22	緑化・水辺空間	6.647
23	平和・都市交流・国際交流	6.454
24	文化・学習・スポーツ	6.421

* ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）で計算。

例；「安全対策」について寄せられた回答数は以下の表のとおり。

【満足度（加重平均）】

（4点×91件＋3点×512件＋2点×244件＋1点×78件）÷925（合計件数）＝2.666

【重要度（加重平均）】

（4点×899件＋3点×329件＋2点×20件＋1点×9件）÷1,257（合計件数）＝3.685

【ニーズ得点】

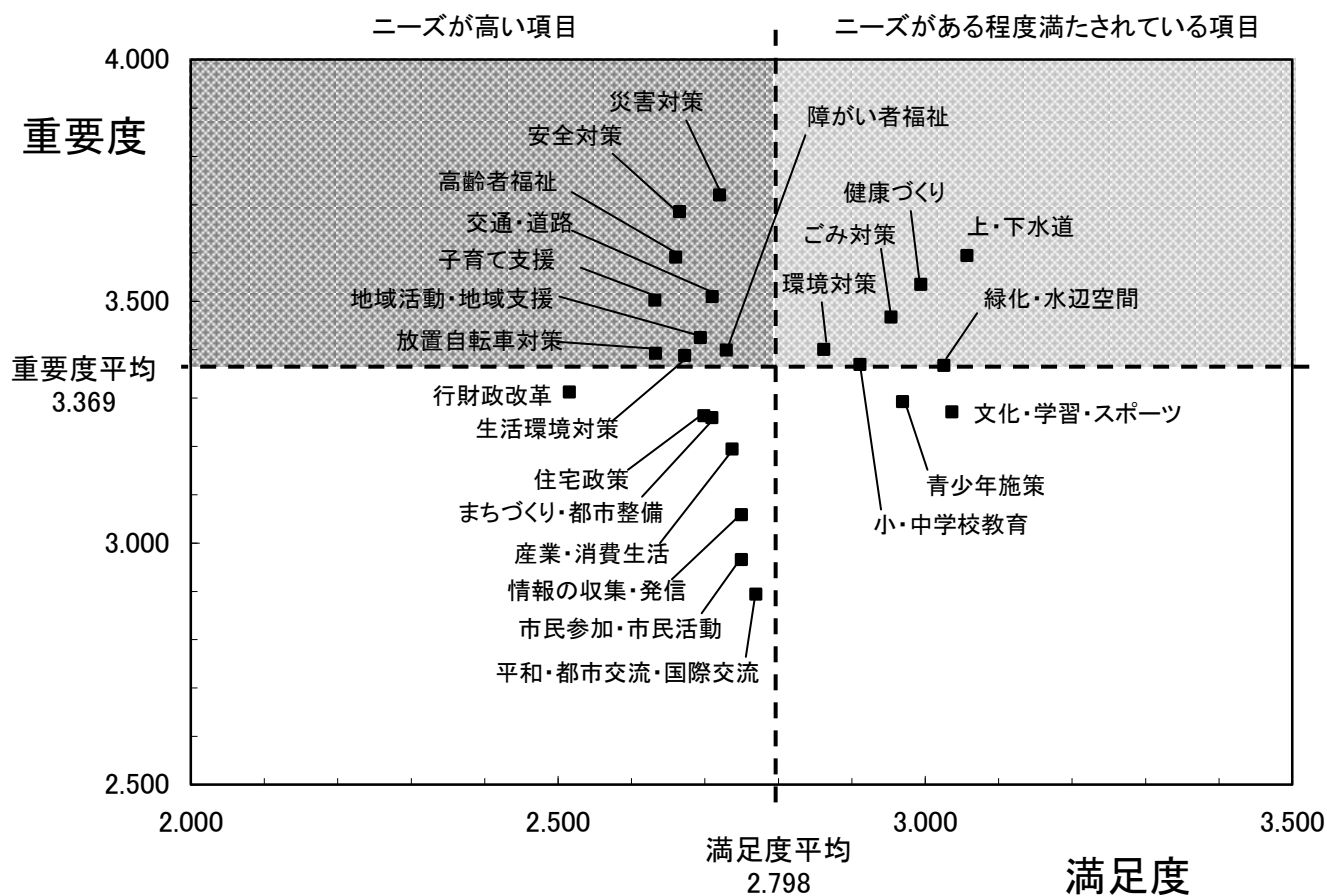
3.685×（5－2.666）＝**8.601**

点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
回答選択肢	満足	満足 ある 程度	あまり満足 していない	不満足	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある 程度	重要でない	重要でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	91	512	244	78	925	406	72	2.666	899	329	20	9	1,257	146	3.685

順位	項目	ニーズ 得点	男性	女性	18 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 以上
1	安全対策	8.601	2位	1位	5位	3位	2位	2位	1位	2位	3位	2位
2	災害対策	8.479	1位	2位	1位	4位	3位	1位	2位	1位	4位	7位
3	高齢者福祉	8.402	3位	3位	14位	6位	12位	4位	3位	3位	1位	1位
4	子育て支援	8.293	5位	4位	9位	1位	1位	10位	9位	6位	11位	16位
5	行財政改革	8.228	4位	5位	4位	8位	4位	6位	8位	4位	2位	4位
6	交通・道路	8.036	7位	6位	7位	7位	8位	3位	4位	5位	8位	10位
7	放置自転車対策	8.029	6位	7位	11位	2位	7位	5位	7位	9位	5位	8位
8	地域活動・地域支援	7.896	8位	9位	2位	15位	5位	8位	5位	8位	9位	13位
9	生活環境対策	7.884	9位	8位	6位	5位	6位	7位	11位	12位	7位	3位
10	障がい者福祉	7.717	10位	10位	23位	14位	15位	12位	6位	7位	6位	5位
11	住宅政策	7.508	12位	11位	3位	9位	11位	16位	14位	10位	10位	9位
12	まちづくり・都市整備	7.464	11位	13位	15位	16位	16位	11位	13位	11位	12位	6位
13	環境対策	7.269	16位	12位	10位	11位	14位	15位	10位	16位	15位	17位
14	産業・消費生活	7.227	14位	16位	16位	13位	19位	9位	18位	13位	20位	11位
15	ごみ対策	7.094	15位	17位	13位	10位	17位	13位	12位	21位	21位	22位
16	健康づくり	7.090	17位	15位	8位	12位	13位	14位	15位	18位	17位	14位
17	小・中学校教育	7.035	13位	19位	18位	20位	9位	18位	17位	15位	13位	15位
18	上・下水道	6.982	22位	14位	20位	17位	18位	17位	19位	14位	16位	19位
19	情報の収集・発信	6.881	19位	18位	17位	22位	23位	20位	16位	17位	14位	12位
20	青少年施策	6.684	18位	23位	21位	21位	10位	24位	24位	20位	18位	20位
21	市民参加・市民活動	6.672	20位	20位	22位	19位	20位	23位	20位	19位	19位	21位
22	緑化・水辺空間	6.647	21位	21位	19位	18位	21位	19位	21位	22位	22位	24位
23	平和・都市交流・国際交流	6.454	24位	22位	12位	23位	24位	22位	22位	24位	23位	18位
24	文化・学習・スポーツ	6.421	23位	24位	24位	24位	22位	21位	23位	23位	24位	23位

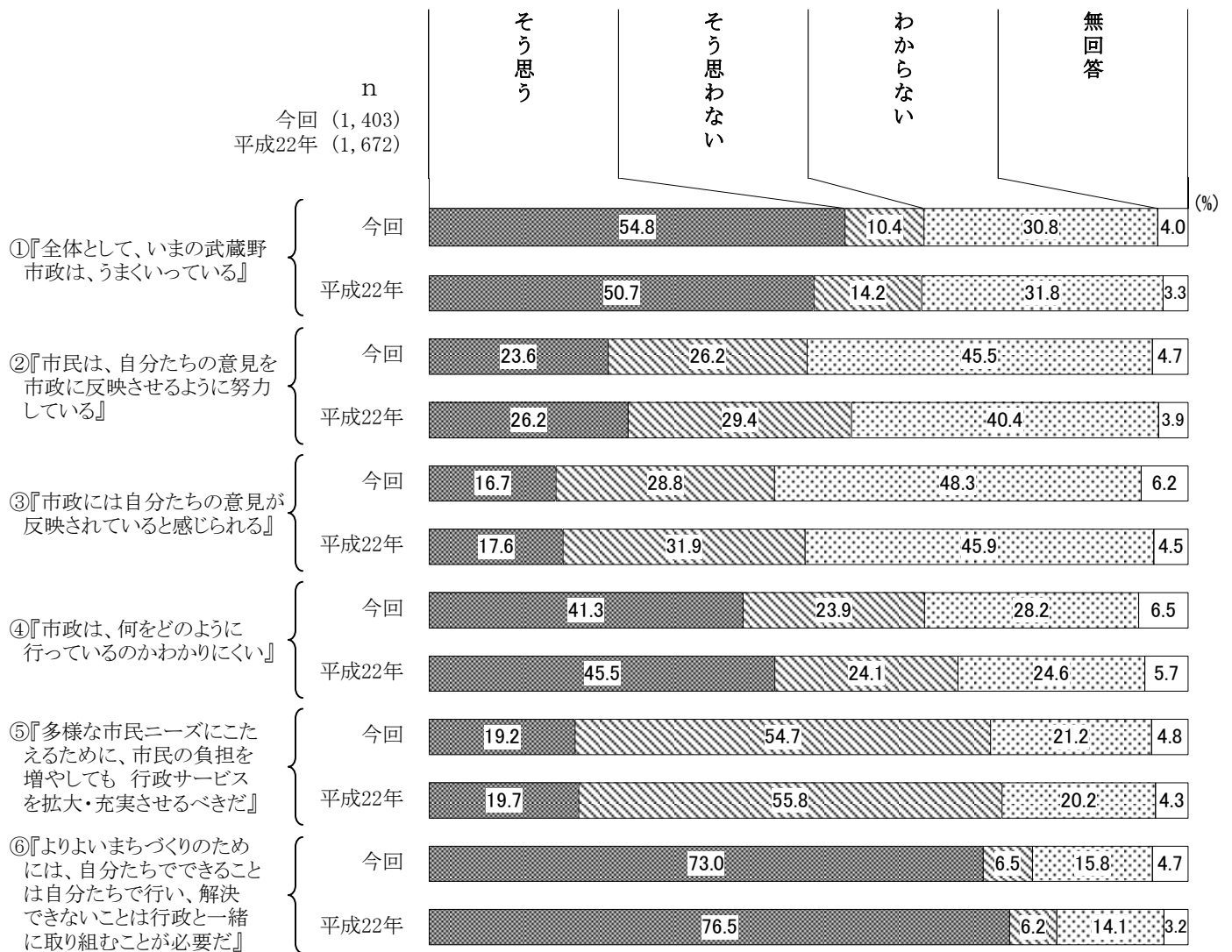
性別にみると、男性では「災害対策」が第1位、「安全対策」第2位、「高齢者福祉」第3位となっています。女性は「安全対策」が第1位、「災害対策」第2位、第3位は男性と同様に「高齢者福祉」となっています。

年代別では、「安全対策」は50歳～59歳で1位、「災害対策」は40歳～49歳および60歳～69歳、「高齢者福祉」は70歳以上、「子育て支援」は20歳以上39歳以下でそれぞれ1位となっています。



上のプロット図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、『放置自転車対策』や『子育て支援』、『生活環境対策』、『高齢者福祉』、『安全対策』、『交通・道路』、『障がい者福祉』などである。一方、『上・下水道』、『健康づくり』、『ごみ対策』、『小・中学校教育』、『環境対策』は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目となっています。

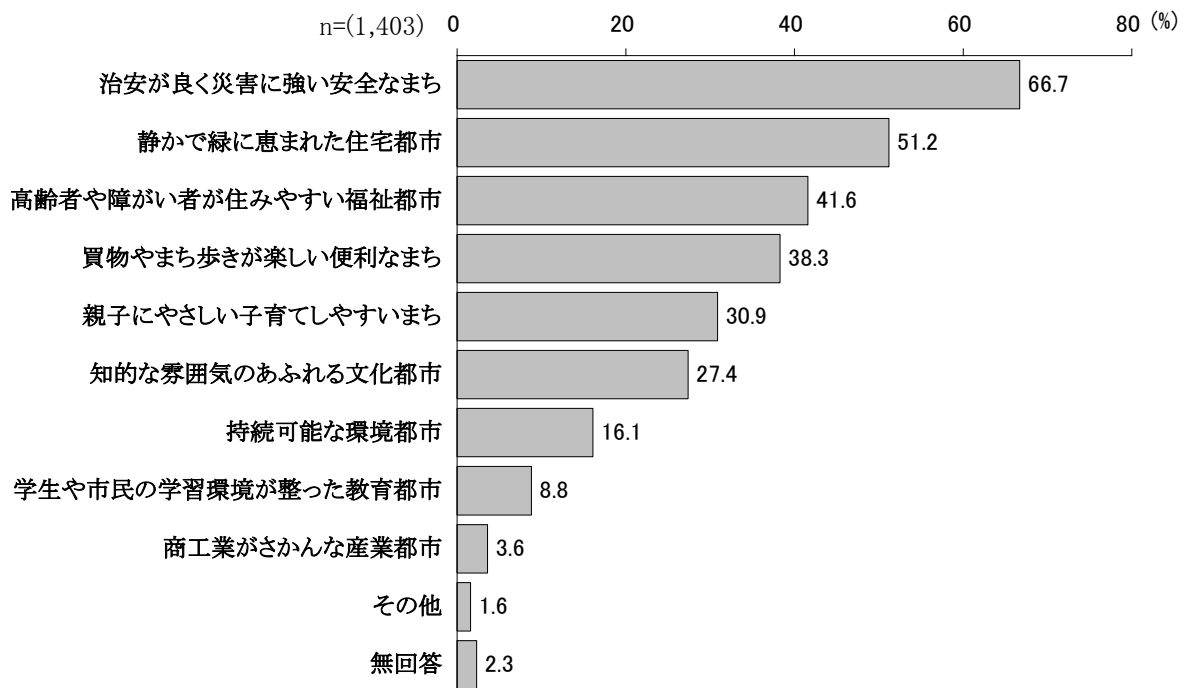
問 14 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点について、おうかがいしました。

- ①『全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている』は「そう思う」が 54.8%と過半数となっています。前回調査より「そう思う」は 4.1 ポイント増加しています。
- ②『市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している』は「そう思わない」(26.2%)が「そう思う」(23.6%)を若干上回っています。前回調査より「わからない」が 5.1 ポイント増加しています。
- ③『市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる』は「そう思わない」が 28.8%となっています。前回調査より「そう思わない」が 3.1 ポイント減少し、「わからない」が 2.4 ポイント増加しています。
- ④『市政は、何をどのように行っているのかよくわかりにくい』は「そう思う」が 41.3%となっています。前回調査より「そう思う」が 4.2 ポイント減少しています。
- ⑤『多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ』は、「そう思わない」が 54.7%となっており、前回調査とほとんど変化はありません。
- ⑥『地域の課題解決やよりよいまちづくりのためには、市民が主体となり、自分たちでできることは自分たちで行い、自分たちで解決できないことを、行政と一緒にとりくむべきだ』は、「そう思う」が 73.0%となっています。前回調査とほとんど変化は見られません。

問 15 武蔵野市の将来像（複数回答）



※今回から複数回答に変更したため、前回調査との比較は行っていない。

武蔵野市の将来像としては、「治安が良く災害に強い安全なまち」が66.7%で最も高い結果となりました。次いで「静かで緑に恵まれた住宅都市」（51.2%）が半数を超えており、以下「高齢者や障がい者が住みやすい福祉都市」（41.6%）、「買物やまち歩きが楽しい便利なまち」（38.3%）、「親子にやさしい子育てしやすいまち」（30.9%）などが続いています。

武蔵野市民意識調査報告書【速報版】

平成 2 6 年 7 月実施

発行 平成 2 6 年 1 0 月

武蔵野市市民部市民活動推進課

武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 2 8 号

電話 (0422) 60-1829 (直通)